OLYMPUS®

LINEAR PCM RECORDER

LS-14

リニア PCM レコーダー

取扱説明書

JP

お買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

はじめに

- 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面や本機のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、
受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標および登録商標について

- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh は米国アップル社の商標です。
- SD、SDHC は、SD Card Association の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。
- チューナーおよびメトロノームの技術は、株式会社ＣＲＩ・ミドルウェアの「CRIWARE」によって実現されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。



INDEX

目次

はじめに

1 ご使用になる前の準備

2 録音について

3 再生について

4 ファイル管理について

目次

5 メニューについて

6 チューナーについて

7 本機をパソコンでお使いいただくためには

8 資料

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

 **危険：**

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。

 **警告：**

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

 **注意：**

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- 清掃するとき、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。
- 三脚を取り付ける場合、本機を回さず三脚側のねじを回してください。

<データ消失に関する注意事項>

- メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスクや記録メディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 本製品は故障, 当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

<録音したファイルに関する注意事項>

- 本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

安全に正しくお使いいただくために

本機について



警告

● **可燃性ガス、爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。**
引火・爆発の原因となります。

● **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しないでください。**
火災・感電の原因となります。

● **分解、修理、改造をしないでください。**
感電やけがをするおそれがあります。

● **水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、**
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

● **SD ／ SDHC カード以外は、絶対に本機に入れないでください。**
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

● **車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。**
交通事故などの原因となります。

● **この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。**
幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故のおそれがあります。
– 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
– 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

● **航空機内や病院など使用に制限のある場所ではご使用をお避けになるか、その場所の指示に従ってください。**

● **本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意してください。**



注意

● **操作前から音量を上げないでください。**
聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

● **異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときは使用を中止してください。**
火災・やけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。

● **高温になるところに放置しないでください。**
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

● **低温下で本機の金属部に長時間触れないでください。**
皮膚に障害を起こすおそれがあります。低温下では、できるだけ素手で扱わず手袋などを使用してください。

電池について

⚠ 危険：

● **火気のある場所に電池を置かないでください。**

● **火の中への投入、加熱をしないでください。**
火災や破裂・発火の原因となります。

● **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。**

● **⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。**
発熱や感電・火災の原因となります。

● **電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。**
発熱や感電・火災の原因となります。

● **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。**

● **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。**
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

⚠ 警告

● **濡れた手で触ったり持ったりしないでください。**
感電・故障の原因となります。

● **外装にキズや破損がある電池は使用しないでください。**
破裂・発熱の原因となります。

● **電池の極性（⊕ と ⊖）を逆に入れないでください。**
電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂するおそれがあります。

- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れのおそれがあります。

- **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**
- **電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。**
  電池は幼児・子供が飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- **液漏れ、変色、変形、その他の異常が発生した場合は、使用を中止してください。**
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⚠ 注意：

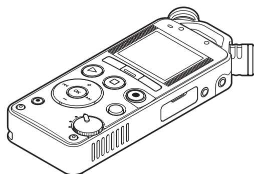
- **容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。**
- **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。**

ご使用になる前の準備

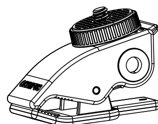
同梱品を確認する

お買い上げの商品には次の付属品が入っています。

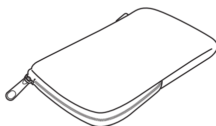
本体



スタンドクリップ



キャリングケース

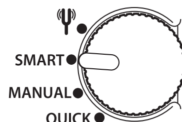


- USB 接続ケーブル
- 単 3 形アルカリ乾電池（2 本）
- 取扱説明書（保証書付）

主な特長

■ **簡単に高品位の録音ができる Smart モードを搭載。**
設定された時間内に入力された音量の最大値を検知して、最適な録音レベルにあらかじめ自動調整しておく機能です。設定された時間が経過すると録音が自動的に始まります。録音中に大きな音があっても音割れせずに録音できます。

■ **使用状況に合わせて簡単に設定を変えられるモードダイヤルを搭載。**
[**QUICK**]：設定はおまかせですぐに録音が可能です。
[**SMART**]：簡単に高品位な録音が可能です。
[**MANUAL**]：お好みの設定で録音が可能です。
[🎙]：入力された音源と基準音とのずれを測定できるチューナー機能です。



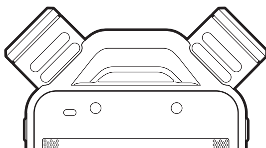
■ **低音域から高音域を高音質で録音できる3マイクシステム「Tresmic」を搭載。**
高性能ステレオマイクと低音域を補強するセンターマイクの組み合わせで 20Hz ～ 20000Hz といった、より原音に近い広帯域の録音が可能です。

TRESMIC
3 MICROPHONE SYSTEM

主な特長

■ **CD レベル以上の音質で記録できるリニア PCM 形式に対応。**
さまざまな音源をリアルに録音できます。音楽ＣＤ（サンプリングレート 44.1 kHz、ビット数 16 bit）以上の高サンプリングレート、ビット数での高解像度録音が可能です。

■ **最大耐音圧 130dBspl の新設計マイクを搭載。**
大音響のライブでも音割れがなく、臨場感のある高音質録音が可能です。原音を忠実にとらえる高感度・低ノイズステレオマイクを採用し、マイク自体を 90 度外側に向けることにより、自然で広がりのあるステレオ感で録音できます。



■ **録音時のリズムガイドとして利用できるメトロノーム機能を搭載。**
用途に合わせてお好みの設定に変更できます。



■ **楽器などの調律に使用するクロマチックチューナー機能を搭載。**
楽器を調律するときに使うチューニングメーターとして使用できます。

■ **多彩な録音モードを搭載。**
通常録音の他にオーバーダビング、プリレコーディングが選べます。楽器練習やフィールドレコーディングなど、様々な用途に合わせて録音モードを選択できます。



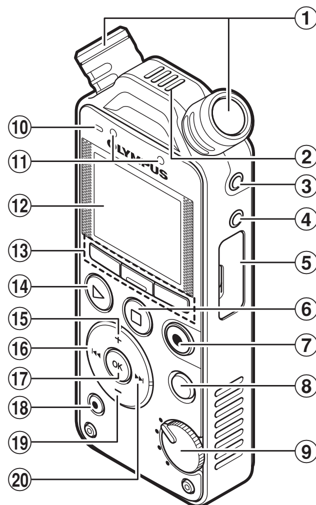
■ **ファイル分割機能を搭載。**
本機で録音したファイル（PCM・MP3）および録音中のファイル（PCM）を分割できます。

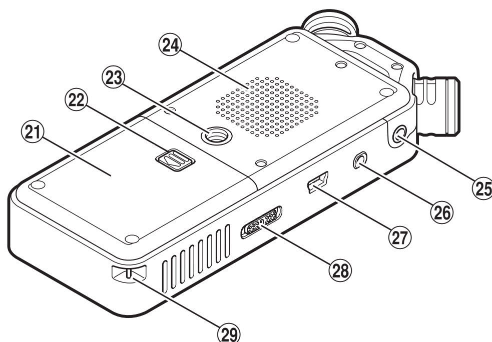
■ **ファイルトリミング機能を搭載。**
本機で録音したファイル（PCM）の必要な部分だけを残します。

■ **ファイル部分消去機能を搭載。**
本機で録音した PCM 形式のファイルの一部分を消去できます。

■ **大型で高精細のバックライト付きディスプレイを搭載。**

各部のなまえ





① 内蔵ステレオマイク
② 内蔵モノラルセンターマイク
③ **MIC** ジャック
④ **LINE IN** ジャック
⑤ カードカバー
⑥ **STOP/⌂（■）**ボタン
⑦ **REC（●）**ボタン、
録音表示ランプ（LED）
⑧ **MENU** ボタン
⑨ モードダイヤル
⑩ **PEAK** 表示ランプ（LED）
⑪ LED 表示ランプ
⑫ ディスプレイ（液晶パネル）
⑬ **F1** ボタン
F2 ボタン
F3 ボタン
⑭ **PLAY（▶）**ボタン
⑮ **＋**ボタン
⑯ **⏮** ボタン
⑰ **OK** ボタン
⑱ **ERASE** ボタン
⑲ **－**ボタン
⑳ **⏭** ボタン
㉑ 電池カバー
㉒ 電池カバーリリースボタン
㉓ 三脚穴
㉔ 内蔵スピーカ

各部のなまえ

㉕ **EAR** ジャック

㉖ **REMOTE** ジャック
別売のリモコンセット RS30W の受信部を接続します。リモコンで本機の録音／停止の操作ができます。

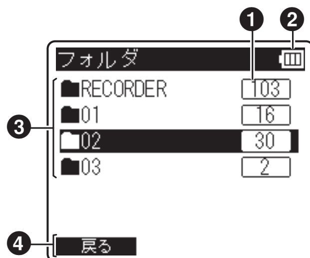
㉗ USB 端子

㉘ **POWER/HOLD** スイッチ

㉙ ストラップ取り付け部

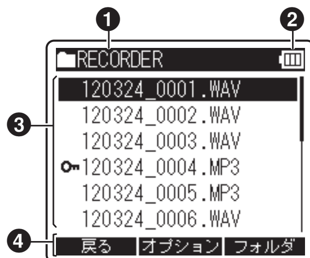
ディスプレイ（液晶パネル）

フォルダリスト表示画面



❶ フォルダ内の総ファイル数
❷ 電池表示
❸ フォルダ名
❹ ファンクションガイド表示

ファイルリスト表示画面



❶ 現在のフォルダ名
❷ 電池表示
❸ ファイル名
❹ ファンクションガイド表示

各部のなまえ

ファイル表示画面

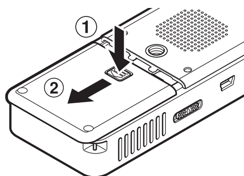


❶ 現在のファイル名
❷ 電池表示
❸ [OVERdub] 表示、メトロノーム表示、フォルダ名
❹ 本機の動作状態
[**REC**]：録音表示
[**PAUSE**]：録音一時停止表示
[**STOP**]：停止表示
[**PLAY**]：再生表示
[**FF**]：早送り表示
[**REW**]：早戻し表示
[**F.PLAY**]：早聞き再生表示
[**S.PLAY**]：遅聞き再生表示
❺ メモリ残量バー表示、再生位置バー表示
❻ レベルメーター
❼ ファンクションガイド表示
❽ 録音可能な残り時間、ファイルの長さ
❾ 録音経過時間、再生経過時間

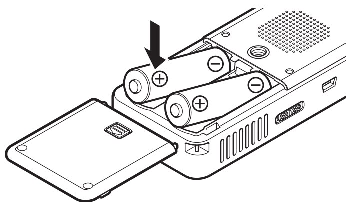
電池を入れる

本機は単 3 形アルカリ乾電池を使用できます。

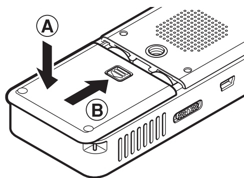
1 電池カバーリリースボタンを押し電池カバーを軽く押しながらスライドさせて開ける



2 単 3 形電池の ⊕ と ⊖ を正しい向きで入れる



3 電池カバーを Ⓐ の方向に押さえながら閉じ、Ⓑ の方向にスライドさせ電池カバーを完全に閉める



電池表示について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のようにかわります。



- ディスプレイに［］が表示されたら、早めに新しい電池に交換してください。電池がなくなると、［**電池残量がありません**］と表示され、動作が停止します。

ご注意

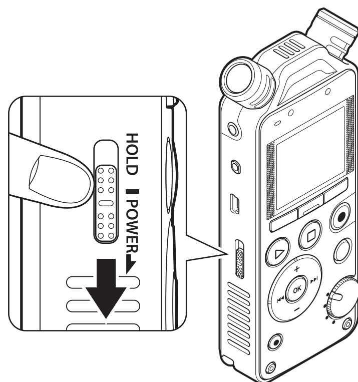
- 本機でマンガン電池はご使用になれません。
- 電池の交換は必ず本機の電源を切ってから行ってください。
  本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなるなどの故障が発生するおそれがあります。
- 本機から電池を抜いた状態が 15 分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、電池や時刻の設定が必要になる場合があります。
- 長期間本機をご使用にならない場合、電池を取り外してください。
- 内蔵スピーカで再生するとき、電池表示が［］であっても音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機の電源が切れる場合があります。この場合、音量を下げてご使用ください。

電源を入れる／切る

本機をご使用にならない場合、電源を切ることで電池の消耗を最小限に抑えられます。電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

電源を入れる

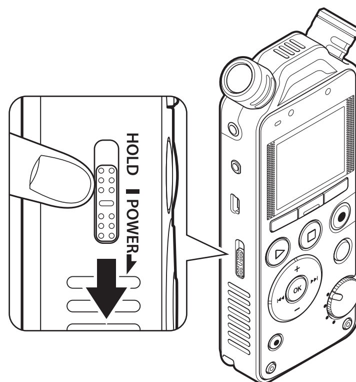
本機の電源が切れている状態で POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へスライドさせる



• 電源が入ります。

電源を切る

POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へ 1 秒以上スライドさせる



• 電源が切れます。

スリープモードについて

電源を入れて停止状態のまま 10 分以上（初期設定）経過すると、ディスプレイ表示が消え、スリープ（省電力）モードになります（☞ P.93）。

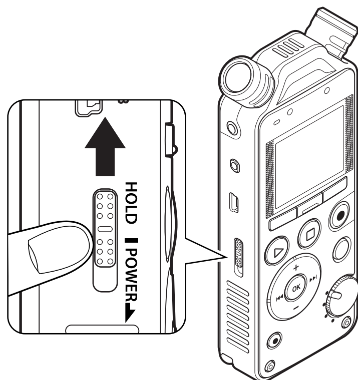
• スリープモードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

誤操作を防止する　ホールド機能

ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運びに便利です。また、録音中に誤って停止させてしまうことを防ぎます。

ホールドにする

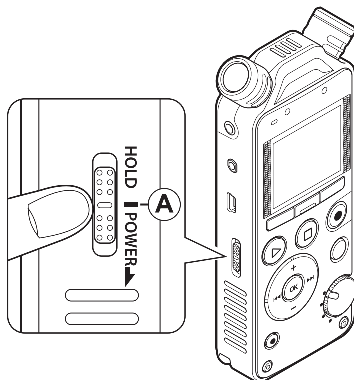
録音中または再生中に POWER/HOLD スイッチを［HOLD］の位置にスライドさせる



- ディスプレイに［**ホールド**］が表示され、ホールド状態になります。

ホールドを解除する

POWER/HOLD スイッチを Ⓐ の位置にスライドさせる



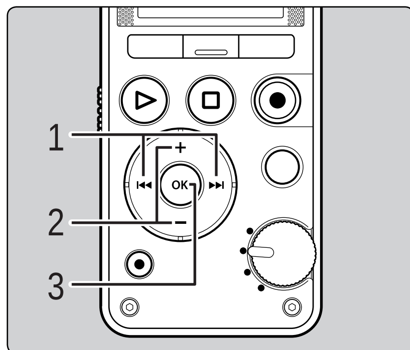
ご注意

- ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、時計表示が 2 秒間点灯しますが動作しません。
- 再生（または録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります）。
- RS30W リモコンセット（別売）を接続すると、ホールドの状態でもリモコンで操作できます。

日付・時刻を合わせる［Time & Date］

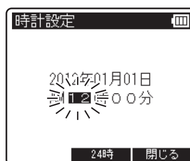
日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ日付・時刻合わせをしてください。

ご購入後初めてご使用になる場合や、長い間ご使用のないあとで電池を入れた場合、[時計を設定してください] と表示されます。「時」表示が点滅したら、手順 1 から設定を行ってください。

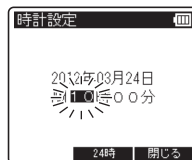


1 ►►I または I◄◄ ボタンを押して設定項目を選ぶ

- **「時」「分」「年」「月」「日」**の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。



2 ＋または－ボタンを押して設定する



- 以下同じように ►►I または I◄◄ ボタンで次の設定項目を選び、＋または－ボタンを押して設定を行います。
- 時、分の設定中、**F2** ボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

例：午後 10 時 38 分の場合

PM 10 時 38 分（初期値） ←→ 22 時 38 分

- 年、月、日の設定中、**F2** ボタンを押すたびに［**年**］［**月**］［**日**］表示の順序が切り替わります。

例：2012 年 3 月 24 日の場合

2012 年 3 月 24 日（初期値）
↓
3 月 24 日 2012 年
↓
24 日 3 月 2012 年 →（2012 年 3 月 24 日に戻る）

3 **OK** ボタンを押して設定を完了する

- 設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせて **OK** ボタンを押してください。

ご注意

- 設定の途中に **OK** ボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。
- 設定後、［**音声ガイドが必要ない場合は、OFFを選択してください**］とアナウンスが流れ、音声ガイド設定（☞ P.90）に移行します。音声ガイドが不要なときは、［**OFF**］を選択してください。

ホーム画面で **STOP/🏠**（■）ボタンを押し続けると［**現在日時**］や［**メモリ残量**］（録音可能な残り時間）を確認できます。現在日時が合っていない場合、日付と時刻を設定してください。日時設定については、「**時計の設定［Time & Date］**」をご覧ください（☞ P.94）。

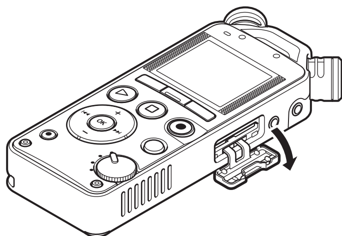


SD カードを入れる／取り出す

本書に記載されている「SD」とは SD と SDHC の両方をさします。本機では内蔵メモリのほかに市販の SD カードをご使用になれます。

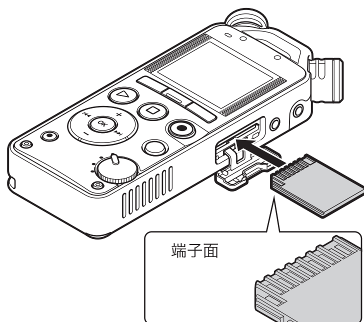
SD カードを入れる

1 停止中にカードカバーを開ける



2 図のように SD カードの向きを正しく合わせて入れる

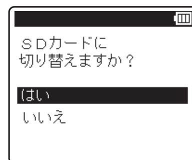
- SD カードが斜めに入らないようにまっすぐに入れます。



- SD カードの向きを間違えたり、斜めに入れると接触面が破壊されたり、SD カードが抜けなくなる場合があります。
- SD カードがカチッと音がする奥まで挿入されていないと、SD カードに記録できない場合があります。
- SD カードを入れると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。

3 カードカバーを閉じる

4 SD カードに記録する場合、**+** または**−**ボタンを押して［**はい**］を選ぶ



5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

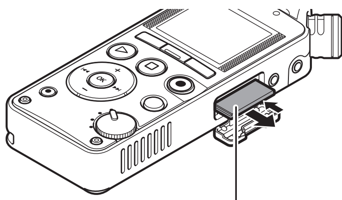
ご注意

- 記録メディアを内蔵メモリへ切り替えることもできます（☞ P.92）。
- パソコンなどの他の機器でフォーマット（初期化）した SD カードは、認識できない場合があります。お使いになる前に、必ず本機で初期化してください（☞ P.98）。
- SD カードご使用時は電池持続時間が短くなる場合があります（☞ P.121）。

SD カードを取り出す

1 停止中にカードカバーを開ける

2 SD カードを一度奥に向かって押し込んで、そのままゆっくり戻す



SD カードが手前に出て止まります。SD カードをつまんで取り出してください。

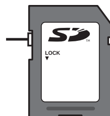
- ［**メモリ選択**］の設定を［**SD カード**］にしていた場合、［**内蔵メモリに切り替えました**］と表示されます。

3 カードカバーを閉じる

SD カードについて

書き込み禁止スイッチが［**LOCK**］方向になっていると、録音や消去などができません。

書き込み禁止スイッチ



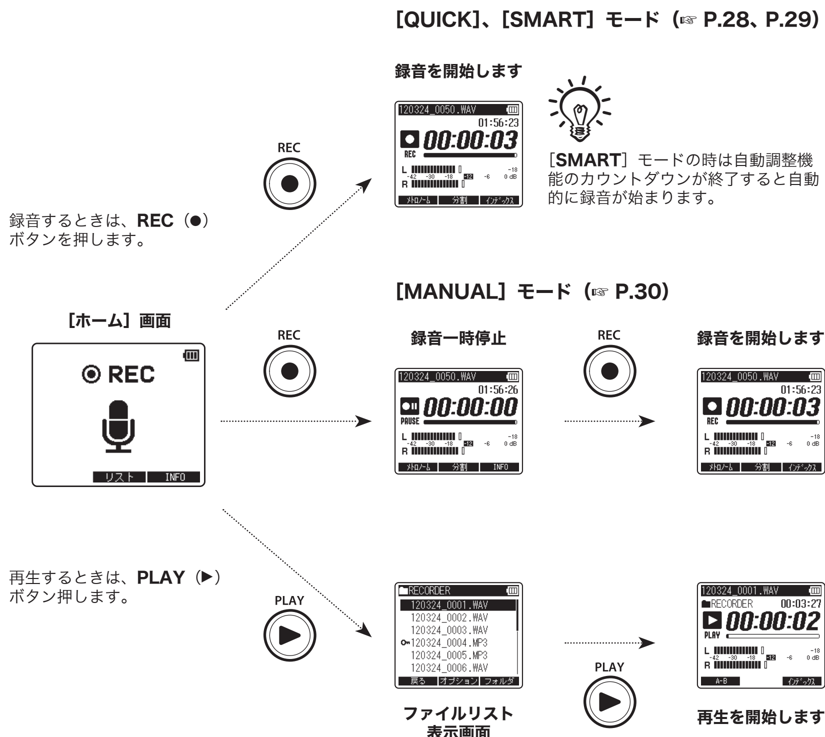
ご注意

- SD カードを取り出す際に、SD カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、SD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- SD カード、SDHC カードにおいて、本機との相性により製造メーカーやカードの種類によっては正しく認識しないことがあります。
- 当社基準における動作確認済の SD カードについては、当社ホームページのサポートページをご覧ください。
  http://olympus-imaging.jp/
  ホームページでは、当社が動作確認を行った SD カードの製造メーカーとカードの種類を紹介していますが、当社がお客様に対して SD カードの動作保障をするものではありません。また、各製造メーカーの仕様変更などにより、正しく認識できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ご利用の際は、SD カードに付属の取扱説明書を必ずお読みください。
- SD カードが認識されない場合、SD カードを取り出してからもう一度入れ直し、本機で認識するか試してください。
- SD カードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。また、SD カードは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合、SD カードを初期化しなおしてください（☞ P.98）。

ホーム画面

本機の電源を入れると、ホーム画面が表示されます。ホーム画面は各機能の入口になります。
また、現在の録音および再生に関する設定内容を確認できます。

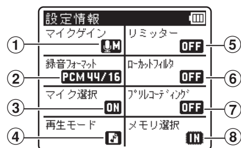
機能を切り替える



ホーム画面

設定内容を確認する

［**ホーム**］画面で **F3**（**INFO**）ボタンを押し続けると、現在設定されている設定内容を表示します。録音一時停止中でも確認できます。



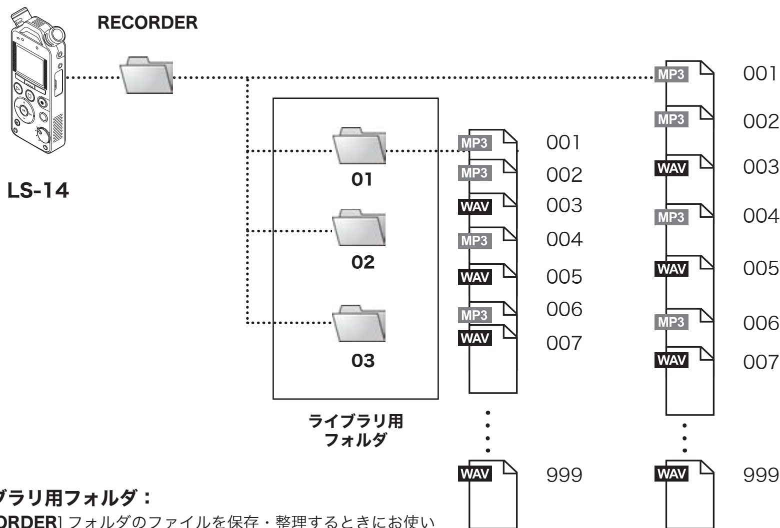
① ［**マイクゲイン**］（☞ P.69）
② ［**録音フォーマット**］（☞ P.71）
③ ［**マイク選択**］（☞ P.75）
④ ［**再生モード**］（☞ P.81）
⑤ ［**リミッター**］（☞ P.70）
⑥ ［**ローカットフィルタ**］（☞ P.73）
⑦ ［**プリレコーディング**］（☞ P.76）
⑧ ［**メモリ選択**］（☞ P.92）

フォルダについて

記録メディアは、内蔵メモリまたは SD カードを使用できます。記録メディアにかかわらず、本機で録音したファイルは［**RECORDER**］フォルダに保存されます。

録音用フォルダ：

録音したファイルは［**RECORDER**］フォルダに保存されます。



ライブラリ用フォルダ：

[**RECORDER**] フォルダのファイルを保存・整理するときにお使いください。また、パソコンから転送したファイルの保存ができるほか、パソコンを使って [**01**] から [**03**] のフォルダと同じ階層にフォルダを追加することができます。
本機には [**01**]、[**02**]、[**03**] フォルダを含め 200 フォルダまで追加することができます。同じ名前のフォルダを追加することはできません。

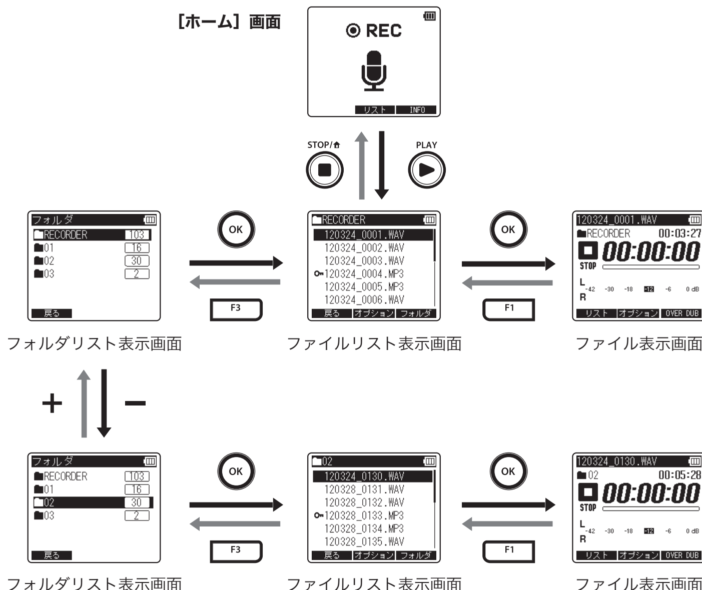
各フォルダに最大で 999 件ずつのファイルを収納できます

ご注意

- ［**RECORDER**］フォルダと同階層にあるファイルは本機では表示されません。
- [**01**]、[**02**]、[**03**] の各フォルダ内にフォルダを作成しても、本機では認識しません。

フォルダとファイルの選びかた

フォルダの切り替えは停止中に操作してください。フォルダの階層構造については
［**フォルダについて**］をご覧ください（☞ P.24）。



階層を移動する

←戻る：**F1**（**戻る**）ボタン
　前の画面に戻ります。

→進む：**OK** ボタン
　押すごとにリスト表示画面で選んだフォルダまたはファイルを開きます。

＋または**－**ボタン：
　フォルダやファイルを選びます。

F1（**リスト**）ボタン：
　ファイルリスト表示画面になります。

F3（**フォルダ**）ボタン：
　フォルダリスト表示画面になります。

リスト表示画面：
　本機に記録されているフォルダとファイルがリスト表示されます。

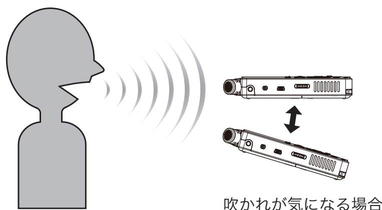
ファイル表示画面：
　選んだファイルの情報が表示されます。再生待機状態になります。

楽器別の録音のコツ

本機の配置例

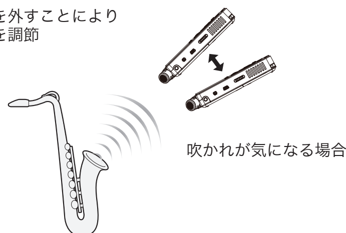
ヴォーカル

シンガーの正面に少し離してセットします。吹かれが大きい場合は、本機の位置を調整してください。



管楽器

管楽器はベルと呼ばれる「朝顔」の中心を狙ってセットします。吹かれが大きい場合は、朝顔の中心から少し離してセットしてください。



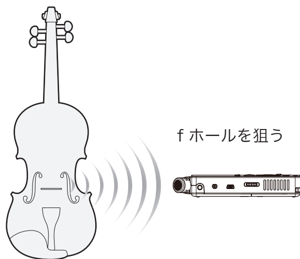
ピアノ

グランドピアノの場合は開口部から三角形になっている響板の中心を狙ってセットしてください。音響も含めて録音したい場合は少し離すと豊かな音色が得られます。



弦楽器

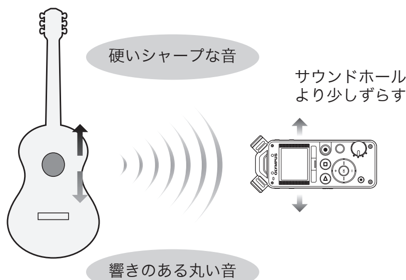
ヴァイオリンなどの弦楽器は、ボディーの f ホールを狙って、楽器の上方に少し離してセットします。



楽器別の録音のコツ

アコースティックギター

ギターのサウンドホールより少しずらした位置を狙うようにセットしてください。リズムギターの場合はギター本体より少し距離をおいて、ソロなどメロディー中心の演奏の場合はギター本体に近づけて録音してください。



ホール

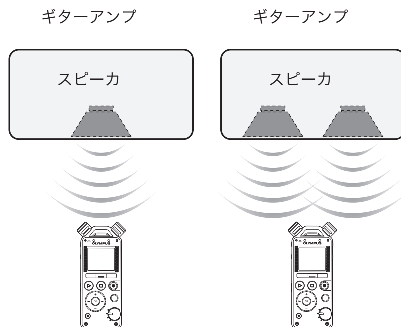
舞台のセンターライン上で演奏者がマイクの指向性の範囲内に含まれるようにし、更に三脚などに固定して録音してください。

オーケストラ・ビッグバンド・合唱団など



エレキギター

ギターアンプのスピーカから出た音をそのまま録音する場合は、スピーカのコーン紙の中心を狙い、少し離してセットします。二つのスピーカの音をステレオで録音する場合は、左右のスピーカの中心付近を狙い、モノラルで録音する場合はスピーカーのコーン紙の中心 より少しずらした位置にセットしてください。



録音する

本機は 3 種類の録音方法があります。必要に応じてモードダイヤルで録音方法を切り替えてください。

［**QUICK**］モード：
録音レベルは自動調整となります。すぐに録音を開始するときに便利です。

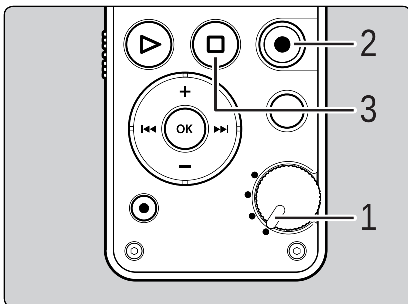
［**SMART**］モード：
設定された時間内に入力された音量に応じて、最適な録音レベルに自動調整します。設定された時間が経過すると録音が自動的に始まります。録音レベルを調整したあとの録音となるので、途中の大きな音も音割れせずに録音できます。入力音量を検知する時間を設定できます（☞ P.29、P.78）。

［**MANUAL**］モード：
お好みの録音レベルに手動で調整して録音します（☞ P.30）。

ご注意

- 新しく録音した音声は、[**RECORDER**] フォルダの一番後ろのファイルとして保存されます。
- 録音中は［**録音フォーマット**］の変更ができません。停止中に設定してください(☞ P.71)。
- 録音中はモードダイヤルの位置を変更しても無効になります。停止中に操作してください。

［QUICK］モード



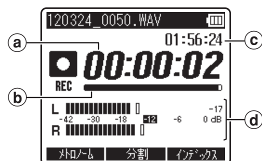
1 モードダイヤルを［**QUICK**］の位置に合わせる



2 **REC**（●）ボタンを押して録音を開始する

- 録音表示ランプが点灯し、ディスプレイの［■］が点灯します。

2
録音する



ⓐ 録音経過時間
ⓑ メモリ残量表示バー
ⓒ 録音可能な残り時間
ⓓ レベルメーター（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）

- 録音レベルが小さいときは、［**マイクゲイン**］の設定を［**HI**］または［**MID**］にしてください（☞ P.69）。
- 本機は音源の音量が大きく変化するような録音状況などでもきれいに録音できるように設計されておりますが、録音状況によっては録音レベルを調整することで、より高音質な録音ができます。

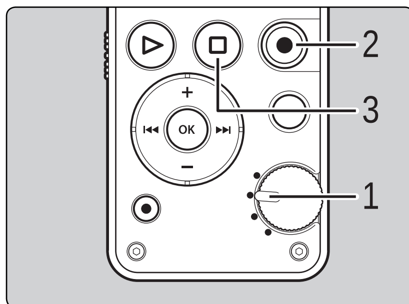
3 **STOP/⌂**（■）ボタンを押して録音を停止する

- ディスプレイの［■］が点灯します。



ⓔ ファイルの長さ

［SMART］モード



1 モードダイヤルを［**SMART**］の位置に合わせる

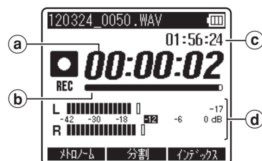


2 **REC**（●）ボタンを押して録音レベルの自動調整を開始する

- ［**スマート設定時間**］のカウントダウンが始まります（☞ P.78）。
- 自動調整時間のカウントダウンが終了すると、調整された設定で録音が始まります。

2
録音する

録音する



ⓐ 録音経過時間
ⓑ メモリ残量表示バー
ⓒ 録音可能な残り時間
ⓓ レベルメーター（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）

- 設定された時間内に入力された音量に応じて、録音レベルを自動調整します。録音レベル調整中は［**録音レベル調整中**］および残りの設定時間が表示されます（☞ P.78）。
- 自動調整を中止したい場合は **F1**（**キャンセル**）または **STOP/⌂**（■）ボタンを押します。
  自動調整をスキップしてすぐに録音を始めたい場合は **F3**（**スキップ**）または **REC**（●）ボタンを押します。
- 録音レベルの自動調整後、▶▶I または I◀◀ ボタンで録音レベルの再調整ができます（☞ P.31）。

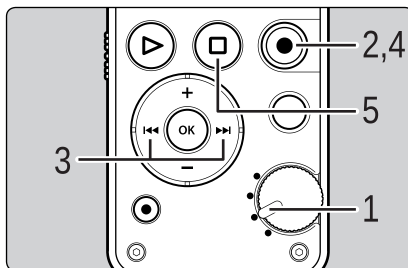
3 **STOP/⌂**（■）ボタンを押して録音を停止する

- ディスプレイの［■］が点灯します。

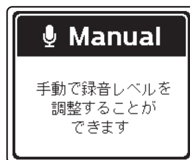


ⓔ ファイルの長さ

［MANUAL］モード

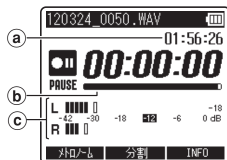


1 モードダイヤルを［**MANUAL**］の位置に合わせる



2 **REC**（●）ボタンを押して録音の準備をする

- 録音表示ランプが点滅し、ディスプレイの［●II］が点灯します。



ⓐ 録音可能な残り時間
ⓑ メモリ残量表示バー
ⓒ レベルメーター（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）

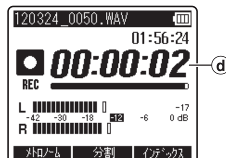
3 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して録音レベルを調整する



- ［**OVER**］が表示されると音が歪んだ状態で録音されます。［**OVER**］が表示されないよう録音レベルを調整してください。
- ［**01**］～［**70**］* の範囲で調整できます。数字が大きくなるとレベルが上がり、レベルメーターの指標位置が大きくなります。
  * **LINE IN** ジャックから録音する場合は、［**01**］～［**30**］の範囲で調整できます。

4 **REC**（●）または **PLAY**（▶）ボタンを押して録音を開始する

- 録音表示ランプが点灯し、ディスプレイの［■］が点灯します。



ⓓ 録音経過時間

5 **STOP/⌂**（■）ボタンを押して録音を停止する

- ディスプレイの［■］が点灯します。



ⓔ ファイルの長さ

録音する

ご注意

- あまりにも大きな音を入力すると、モードダイヤルを［**QUICK**］または［**SMART**］に設定していてもノイズが発生することがあります。
- 頭切れを防ぐために、録音表示ランプの点灯やディスプレイのモード表示を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると、LED 表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- 手動で録音レベルを調整しているときに、入力音が途切れる場合があります。
- ［**ファイル件数がいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。不要なファイルを消去または移動させてから録音をしてください（☞ P.48、P.61）。
- ［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、メモリがいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.61）。
- 本機に SD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**SD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.23、P.92）。
- 記録メディアは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は記録メディアを初期化してください（☞ P.98）。
- 大事な録音をするときには、事前に記録メディアを初期化することをおすすめします。

リニア PCM 形式で 2GB を超えての録音について

リニア PCM 形式の録音で、1 ファイルの容量が 2GB を超えた場合でも録音を継続します。

- ファイルは 2GB 毎に分割して保存されます。再生時には複数のファイルとして扱われます。
- 999 件目のファイルが 2GB を越えると、録音を停止します。

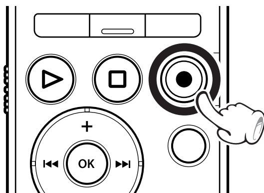
録音に関する設定

録音環境に合わせてさまざまな設定ができます。

［マイクゲイン］（☞ P.69）	録音感度を設定します。
［リミッター］（☞ P.70）	録音時の入力音量に合わせて補正方法を切り替えます。
［録音フォーマット］（☞ P.71）	録音形式ごとに録音レートを設定できます。
［ローカットフィルタ］（☞ P.73）	エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。
［プラグインパワー］（☞ P.74）	**MIC** ジャックに接続した外部マイクに合わせ、プラグインパワー機能を使う・使わないを選べます。
［マイク選択］（☞ P.75）	内蔵センターマイクのオン・オフを切り替えます。
［プリレコーディング］（☞ P.76）	録音開始最大 2 秒前からの音声を継続して録音します。
［録音モニター］（☞ P.77）	**EAR** ジャックから録音モニター音を出力する・しないを選べます。
［スマート設定時間］（☞ P.78）	［**SMART**］モード時の自動調整時間を設定できます。
［メトロノーム］（☞ P.79）	録音時のリズムガイドとしてメトロノームを設定できます。

一時停止するには

録音中に **REC** (●) または **PLAY** (▶) ボタンを押す。



- ディスプレイの［●II］が点灯します。
- 録音一時停止のまま 60 分以上過ぎると停止状態になります。

録音を再開するには

REC（●）または **PLAY**（▶）ボタンをもう一度押す。

- 一時停止したところから録音を再開します。

録音中の音声を聞くには（録音モニター）

イヤホンを本機の **EAR** ジャックに差し込むと、録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は**+**または**−**ボタンを使用して調節できます。

本機の **EAR** ジャックにイヤホンを接続する。

- 録音を開始すると録音中の音声をイヤホンで聞くことができます。

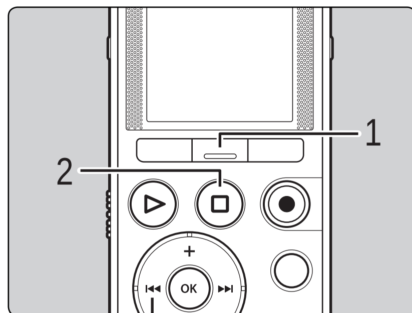


ご注意

- 音量を変えても録音レベルは変化しません。
- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- ハウリングをおこしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。
- アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になるか、録音中は［**録音モニター**］を［**OFF**］にすることをおすすめします（☞ P.77）。

録音中のファイルを分割するには

録音中のファイルを分割できます。例えば演奏会での録音中に楽章ごとにファイルを分けたいときなどに便利です。

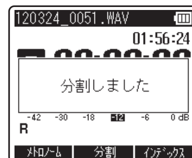




- 録音中にファイル分割するには、あらかじめ［**録音フォーマット**］の設定を［**PCM**］にしてください（☞ P.71）。
- フォルダ内に保存できるファイル数は 999 件までです。録音する前に、あらかじめ不要なファイルを消去するか（☞ P.61）、他のフォルダに既存のファイルを移動させてください（☞ P.48）。
- オーバーダビング録音中はファイル分割ができません。

1 録音中に分割したい位置で **F2**（**分割**）ボタンを押す

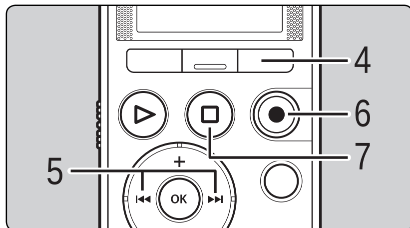
- 録音は途切れずにそのまま継続します。



2 **STOP/⌂**（■）ボタンを押して録音を停止する

オーバーダビング録音をするには

オーバーダビング機能を使うとファイルの再生音を聴きながら重ねて録音できます。録音したファイルは別の名前で保存されます。曲作りや楽器練習に便利です。





［**オーバーダビング**］機能を使うには、以下の条件が必要です。

- 再生するファイルは、ファイルフォーマットが［**PCM 44.1kHz/16bit**］(.wav) のファイルを選んでください（☞ P.25、P.60)。
- ［**録音フォーマット**］は、あらかじめ［**PCM 44.1kHz/16bit**］に設定してください（☞ P.71)。

1 モードダイヤルを［**QUICK**］または［**MANUAL**］の位置に合わせる（☞ P.28、P.30)

- モードダイヤルの位置が［**SMART**］のときは使用できません。

2 再生するファイルを選ぶ（☞ P.25)

3 **EAR** ジャックにイヤホンを接続する

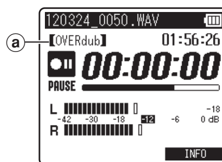
- 再生するファイルの音声は **EAR** ジャックから出力されます。



- ［**録音モニター**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.77)。

4 停止中に **F3**（**OVER DUB**）ボタンを押す

- モードダイヤルの位置が［**QUICK**］のときは、録音と再生が同時に始まります。手順 7 へ進んでください。
- モードダイヤルの位置が［**MANUAL**］のときは、最初にファイルの再生が始まります。



ⓐ オーバーダビング

5 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して録音レベルを調整する

- 再生中のファイルに合わせて、録音レベルを調整します。



6 **REC**（●）ボタンを押して録音を開始する

- ファイルの再生は再び先頭から開始し、同時に録音も開始します。

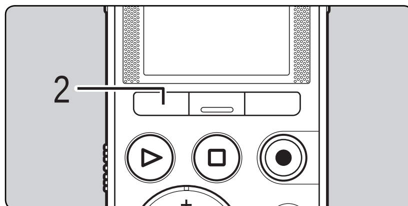
7 **STOP/⌂**（■）ボタンを押して録音を停止する

ご注意

- 元の再生ファイルが終わるとオーバーダビング録音も終了します。
- ［**オーバーダビング**］機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
  - ［**分割**］（☞ P.34）
  - ［**プリレコーディング**］（☞ P.76）
  - ［**メトロノーム**］（☞ P.79）

メトロノーム機能を使うには

録音時のリズムガイドとして使用できます。

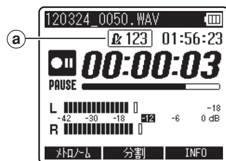


1 メトロノームの設定をする（☞ P.79）

- ［**録音モニター**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.77）。

2 録音中または録音一時停止中に **F1**（**メトロノーム**）ボタンを押す

- 押すたびにオン・オフが切り替わります。



ⓐ メトロノーム

- メトロノームが設定した内容で動作します。メトロノームの音は録音されません。
- メトロノームに合わせてレコーダーのLED 表示ランプが連動します。

ご注意

- メトロノームの音は **EAR** ジャックから出力します。イヤホンを接続して使用してください。
- ［**録音モニター**］の設定が［**Off**］になっている場合は、メトロノームの音は出力されません。

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名がつけられます。

120324 _0001 .WAV

① ② ③

① **日付：**
2012.03.24

② **ファイル番号：**
記録メディアの切り替えにかかわらず、ファイル番号は連続してつけられます。

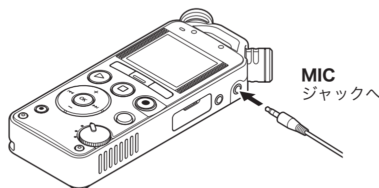
③ **拡張子：**
本機で録音した場合の録音形式の拡張子です。
- リニア PCM 形式：「**.WAV**」
- MP3 形式：「**.MP3**」

外部マイクや
他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。ご使用の機器により、次のように接続してください。本機のジャックへの抜き差しは、録音中に行わないでください。

外部マイクで録音する

本機の MIC ジャックに外部マイクを接続する



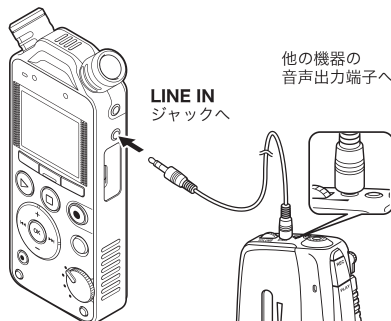
- ご使用いただける外部マイク（別売）（☞ P.116）

ご注意

- 本機の **MIC** ジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- プラグインパワー対応のマイクがご使用になれます。
- ［**録音フォーマット**］の設定をステレオ形式にした場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとＬチャンネルのみに音声が録音されます（☞ P.71）。
- ［**録音フォーマット**］の設定をモノラル形式にした場合、外部ステレオマイクを接続して録音するとＬチャンネルマイクのみの録音となります（☞ P.71）。
- 外部マイクで録音する場合、**MIC** ジャックに接続してください。**LINE IN** ジャックに接続して録音すると、正しく録音できません。
- **MIC** ジャックと **LINE IN** ジャックを同時に使用した場合、**LINE IN** ジャックからの入力が優先されます。

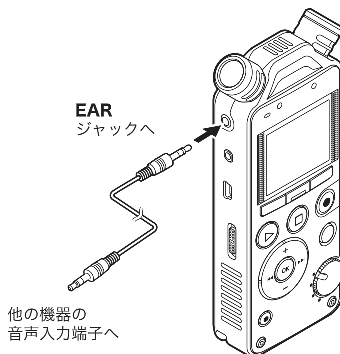
他の機器の音声を本機で録音する

他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機の **LINE IN** ジャックをダビング用コネクティングコード KA334（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。



本機の音声を他の機器で録音する

他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機の **EAR** ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。

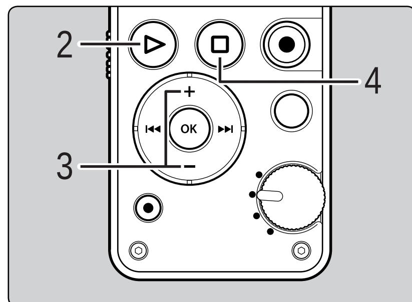


ご注意

- 本機で録音レベルの調整（☞ P.31）をしてもきれいに録音できない場合、接続した外部機器の出力レベルの過多／過少が考えられます。外部機器を接続する場合、試し録音をして外部機器の出力レベルを調整してください。
- 他の機器の音声を録音する場合、**LINE IN** ジャックに接続してください。**MIC** ジャックに接続して録音すると、音が歪み正しく録音できません。

再生する

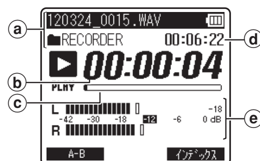
本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送した WAV、MP3 形式のファイルを再生できます。



1 再生するファイルが収録されているフォルダからファイルを選ぶ（☞ P.25）

2 **PLAY**（▶）ボタンを押して再生を開始する

- ディスプレイの［▶］が点灯します。



ⓐ ファイル名、フォルダ名
ⓑ 再生経過時間
ⓒ 再生位置バー表示
ⓓ ファイルの長さ
ⓔ レベルメーター

3 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする

- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

4 **STOP/**⌂（■）ボタンを押して再生を停止する

- ディスプレイの［■］が点灯します。
- 再生しているファイルの途中で停止します。

再生する

再生に関する設定

ファイルの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びください。

[再生モード] **(☞ P.81)**	お好みに合わせて再生範囲やリピート再生をお選びいただけます。
[スキップ間隔] **(☞ P.83)**	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

イヤホンで聞くには

本機の **EAR** ジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。

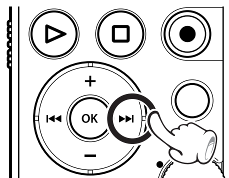
- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出力されません。



ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。
  聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

早送りをするには



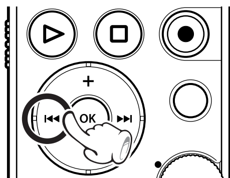
停止中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

- ディスプレイの［⏩］が点灯します。
- ▶▶I ボタンから手を離すと停止します。
  PLAY（▶）ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

- ▶▶I ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.44)。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには



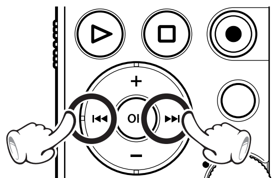
停止中に ⏮ ボタンを押し続ける。

- ディスプレイの［⏪］が点灯します。
- ⏮ ボタンから手を離すと停止します。**PLAY**（▶）ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に ⏮ ボタンを押し続ける。

- ⏮ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.44）。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに ⏮ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには



停止中または再生中に ⏭ ボタンを押す。

- 次のファイルの頭出しをします。

再生中に ⏮ ボタンを押す。

- 再生中のファイルの頭出しをします。

停止中に ⏮ ボタンを押す。

- 1 つ前のファイルの頭出しをします。ファイルの途中で停止している場合、そのファイルの頭出しをします。

再生中に ⏮ ボタンを 2 回押す。

- 1 つ前のファイルの頭出しをします。

ご注意

- 再生中に頭出しをした場合でもファイルの途中にインデックスマークやテンプマークが記録されている場合は、その位置から再生を開始します。停止中の場合は頭出しをします（☞ P.44）。
- 再生中に頭出しをしたときに、［**スキップ間隔**］が［**ファイル スキップ**］以外に設定されている場合、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します（☞ P.83）。

音楽ファイルについて

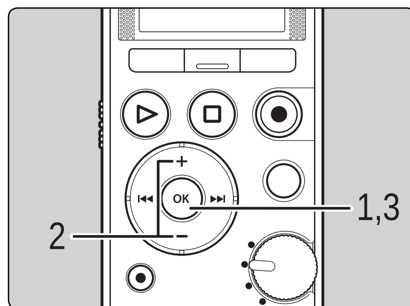
本機に転送した音楽ファイルが再生できない場合、サンプリングレートやビット数、ビットレートが再生できる範囲かご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは下記のとおりです。

ファイル形式	サンプリングレート	ビット数およびビットレート
WAV 形式	44.1 kHz、48.0 kHz	16 bit
	88.2 kHz、96.0 kHz	24 bit
MP3 形式	**MPEG1 Layer3**：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**：16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで

- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- WAV ファイルはリニア PCM 形式のみ、本機で再生できます。その他の WAV ファイルは再生できません。
- 本機で再生可能なファイル形式であっても、すべてのエンコーダに対応しているわけではありません。

再生スピードを切り替える

デジタル処理により、音程をかえずに音声を自動調整するため、違和感なく聞き取れます。

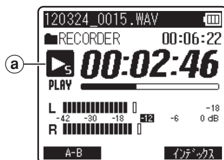


1 再生中に **OK** ボタンを押す

2 **+**または**−**ボタンを押して再生スピードを選ぶ



3 **OK** ボタンを押す



ⓐ 再生スピード表示

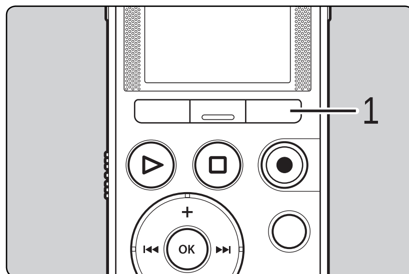
- 再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。次回の再生では変更した早さで再生を行います。

ご注意

- 早聞き・遅聞き再生時でも、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマーク・テンプマークの挿入などの操作ができます。

インデックスマーク・テンプマークをつける

インデックスマークやテンプマークをつけると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。オリンパス製ICレコーダー以外の機器で作成されたファイルにはインデックスマークがつけられませんが、代わりにテンプマークをつけることで聞きたい位置の一時記憶ができます。



1 インデックスマーク・テンプマークをつける位置で、**F3**（**インデックス**）ボタンを押す

- ディスプレイに番号が表示されインデックスマーク・テンプマークがつきます。



- インデックスマーク・テンプマークをつけたあとも録音または再生は続きますので、同様の操作で他の場所にインデックスマーク・テンプマークをつけることができます。

インデックスマーク・テンプマークを消去する

1 消去したいインデックスマーク・テンプマークのあるファイルを再生する

2 ►►I または I◄◄ ボタンを押して消去したいインデックスマーク・テンプマークを選ぶ



3 ディスプレイにインデックス・テンプ番号が表示されている間（約 2 秒間）に、**ERASE** ボタンを押す



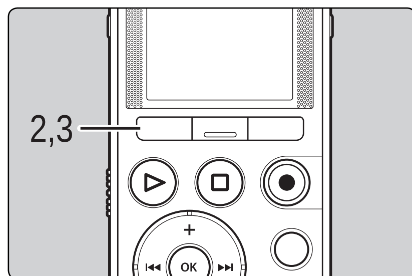
- インデックスマーク・テンプマークが消去されます。
- 消去したインデックスマーク・テンプマーク以降の番号は自動的に繰り上がります。

ご注意

- テンプマークは一時的なマーキングですので、他のファイルへの移動、パソコンとの接続などを行うと自動的に消去されます。
- インデックスマーク・テンプマークは 1 つのファイル内に最大で 99 件までつけることができます。99 件を超えてインデックスマーク・テンプマークをつけようとすると［**これ以上記録できません**］と表示されます。
- ファイルロックをかけてあるファイルは、インデックスマーク・テンプマークをつけたり消去することができません（☞ P.51）。

部分リピート再生のしかた

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。



1 部分リピートしたいファイルを選び、再生を開始する

2 部分リピート再生の開始位置で、**F1**（**A-B**）ボタンを押す



- この［A］の表示中も通常の再生中と同じように再生スピードの切り替え（☞ P.43）や、早送り・早戻し（☞ P.41）が行え、終了位置まで早く進められます。
- ［A］の表示中にファイルの終わりまで到達した場合、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

3 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度 **F1**（**A-B**）ボタンを押す

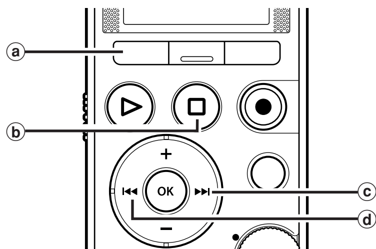
- 部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。



ご注意

- 部分リピート再生中も通常再生と同じように、再生スピードを変えることができます（☞ P.43）。また、部分リピート再生中にインデックスマークやテンプマークの挿入・消去をした場合、部分リピート再生が解除され通常の再生に戻ります（☞ P.44）。

部分リピート再生を解除する



下記のいずれかのボタンを押すと、部分リピート再生は解除されます。

ⓐ **F1（キャンセル）ボタンを押す。**
F1（**キャンセル**）ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。

ⓑ **STOP/⌂（■）ボタンを押す。**
STOP/⌂（■）ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、再生が停止します。

ⓒ **▶▶I ボタンを押す。**
▶▶I ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、次のファイルの頭出しになります。

ⓓ **I◀◀ ボタンを押す。**
I◀◀ ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、再生中のファイルの頭出しになります。

編集する

オプション設定［Option］

[ファイル移動／コピー]	メモリ間でファイルのコピーと移動が行えます。
[ファイルロック] **(☞ P.51)**	ファイル保護をする・しないを設定します。
[ファイル分割]＊ **(☞ P.54)**	本機で録音したファイルを分割することができます。
[部分消去]＊ **(☞ P.56)**	ファイルの不要な部分を削除します。部分消去できるファイルは本機で録音したPCM 形式のみです。
[トリミング]＊ **(☞ P.58)**	ファイルの必要な部分だけを残して、他の部分を削除します。トリミングできるファイルは本機で録音したPCM ファイルのみです。
[プロパティ] **(☞ P.60)**	［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］ ［**ビットレート**］ ［**ファイルロック**］

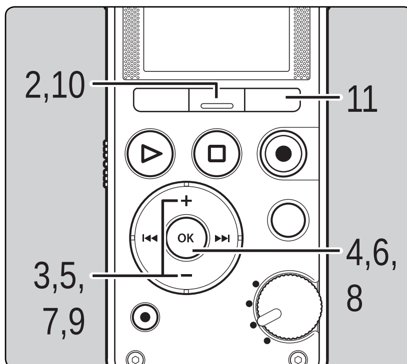
＊ リスト表示画面のときは設定できません。

ご注意

• 停止中からの設定では、3 分間何も操作しないと停止状態に戻ります。この場合、設定途中の項目は変更されません。

ファイルの移動／コピー［Move/Copy］

内蔵メモリまたは SD カードに保存されているファイルを、メモリ内で移動したりコピーすることができます。また、メモリ間のファイル移動やコピーも可能です。
選択中の 1 ファイルに対して編集を行う方法と、複数のファイルを対象に編集を行う方法があります。

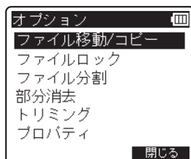


1 あらかじめ移動またはコピーしたいファイルまたはそのファイルが収録されているフォルダを選ぶ（☞ P.25）

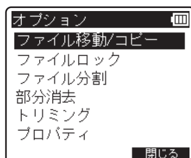
4
編集する

2 停止中に **F2**（**オプション**）ボタンを押す

- ［**オプション**］画面が表示されます。

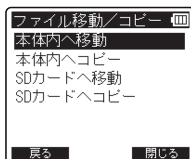


3 **+**または**−**ボタンを押して［**ファイル移動／コピー**］を選ぶ



4 **OK** ボタンを押す

5 **+**または**−**ボタンを押してファイルの移動またはコピー方法を選ぶ



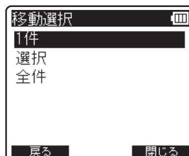
［**本体内へ移動**］：内蔵メモリまたは SD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへ移動する。
［**本体内へコピー**］：内蔵メモリまたは SD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへコピーする。
［**SD へ移動**］：内蔵メモリまたは SD カード内のファイルを SD カード内の別のフォルダへ移動する。
［**SD へコピー**］:内蔵メモリまたは SD カード内のファイルを SD カード内の別のフォルダへコピーする。

6 **OK** ボタンを押す

ファイル表示画面でオプション画面に入った場合：
- 選択中の 1 ファイルに対して移動またはコピーを行います。手順 9 へ進んでください。

ファイルリスト表示画面でオプション画面に入った場合：
- 複数のファイルを対象に移動またはコピーを行います。手順7へ進んでください。

7 **+**または**−**ボタンを押してファイルの移動またはコピー件数を選ぶ



［**1 件**］：指定した 1 件を選びます。
［**選択**］：複数のファイルを選びます。
［**全件**］：フォルダ内のファイルをすべて選びます。

8 **OK** ボタンを押してそれぞれの設定に移る

■［**1件**］を選んだ場合

① ＋または－ボタンを押して移動またはコピーしたいファイルを選び、**OK** ボタンを押す。



■［**選択**］を選んだ場合

① ＋または－ボタンを押して移動またはコピーしたいファイルを選び、**OK** ボタンを押す。

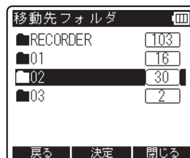


② 手順 ① を繰り返して、移動またはコピーしたいファイルを選んだら、**F2**（**決定**）ボタンを押す。

■［**全件**］を選んだ場合

自動的に現在のフォルダ内のすべてのファイルが選択され、［**移動先フォルダ**］画面に移ります。

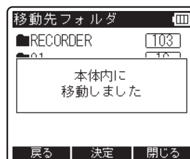
9 **＋**または**－**ボタンを押してファイルの移動またはコピー先のフォルダを選ぶ



10 **F2**（**決定**）ボタンを押す

- ディスプレイに［**移動中です**］または［**コピー中です**］が表示され、移動またはコピーを開始します。その間は進行状況をパーセンテージで表示します。





- ［**移動しました**］または［**コピーしました**］と表示されたら終了です。

4

編集する

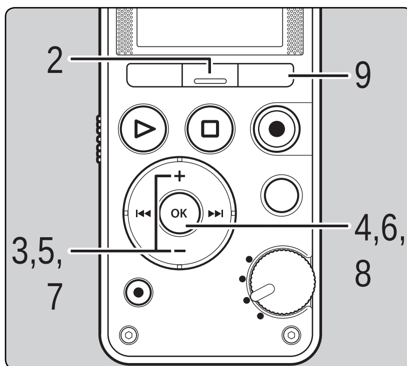
11 **F3（閉じる）**ボタンを押してオプション画面を終了する

ご注意

- メモリ残量が足りない場合はコピーできません。
- 移動先またはコピー先となるフォルダのファイル件数が 999 件を超える場合は移動またはコピーできません。
- ファイルの移動またはコピー中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- 同フォルダ内のファイル移動またはコピーはできません。
- 移動またはコピー中に操作をキャンセルすると、現在移動またはコピーを完了したファイルまでは有効となり、それ以外のファイルはキャンセルされます。
- ファイルロックのかけてあるファイルは、移動またはコピー後もその状態を保ちます。

ファイルロックの設定 [File Lock]

ファイルにファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません（☞ P.62）。
選択中の 1 ファイルに対して編集を行う方法と、複数のファイルを対象に編集を行う方法があります。

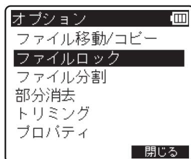


1 あらかじめファイルロックをかけたいファイルが収録されているフォルダまたはファイルを選ぶ（☞ P.25）

2 停止中に **F2（オプション）**ボタンを押す

- ［**オプション**］画面が表示されます。

3 **＋**または**－**ボタンを押して［**ファイルロック**］を選ぶ



4 **OK** ボタンを押す

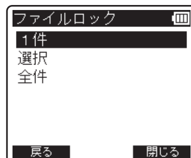
ファイル表示画面でオプション画面に入った場合：

- 選択中の 1 ファイルに対して保護を行います。手順 7 へ進んでください。

ファイルリスト表示画面でオプション画面に入った場合：

- 複数のファイルを対象に保護を行います。手順 5 へ進んでください。

5 **＋**または**－**ボタンを押してファイルロックする件数を選ぶ



［**1 件**］：指定した 1 件を選びます。
［**選択**］：複数のファイルを選びます。
［**全件**］：フォルダ内のファイルをすべて選びます。

6 **OK** ボタンを押してそれぞれの設定に移る

■［**1 件**］を選んだ場合：

① **＋**または**－**ボタンを押してファイルロックしたいファイルを選び、**OK** ボタンを押す。



■［**選択**］を選んだ場合：

① **＋**または**－**ボタンを押してファイルロックしたいファイルを選び、**OK** ボタンを押す。



② 手順 ① を繰り返して、ファイルロックしたいファイルをを選んだら、**F2**（**決定**）ボタンを押す。

■［**全件**］を選んだ場合：

自動的に現在のフォルダ内のすべてのファイルが選択され、［**ファイルロック**］画面に移ります。

7 **+**または**−**ボタンを押して設定を変更する



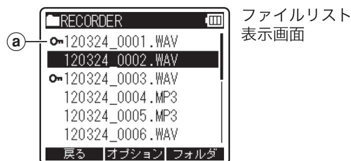
［**ON**］:
ファイルロックがかかります。
［**OFF**］:
ファイルロックが解除されます。

8 **OK** ボタンを押して設定を完了する

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**オプション**］画面に戻ります。

9 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してオプション画面を終了する

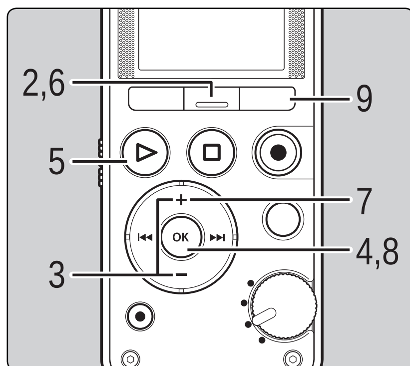
- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。



ⓐ ファイルロック

ファイルの分割をする [File Divide]

容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割すれば管理・編集しやすくなります。





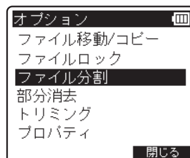
- ファイル分割できるファイルは本機で録音したファイルのみです。
- リスト表示画面のときは設定できません。

1 分割したいファイルを選ぶ

2 停止中に **F2**（**オプション**）ボタンを押す。

- ［**オプション**］画面が表示されます。

3 **+**または**−**ボタンを押して［**ファイル分割**］を選ぶ



4 **OK** ボタンを押す

5 **PLAY**（▶）ボタンを押して分割したい位置まで再生する

- ▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続けると早送り・早戻しします。
- 分割位置はあらかじめインデックスマークなどでマーキングしておくと便利です。

6 ファイルを分割したい位置で**F2**（**分割**）ボタンを押す

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**オプション**］画面に戻ります。



7 **+**ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



8 **OK** ボタンを押す

- ディスプレイが［**分割中 !**］に変わり、ファイル分割を開始します。
 ［**分割しました**］と表示されたら終了です。





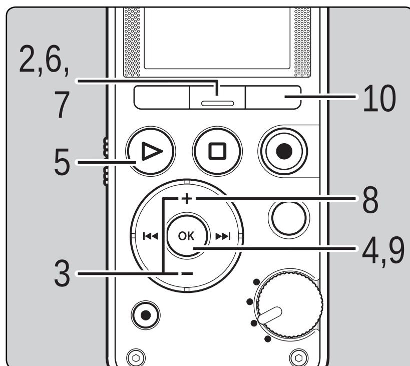
9 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してオプション画面を終了する

ご注意

- ファイル表示画面以外からは［**ファイル分割**］はできません。
- フォルダ内のファイル件数が 999 件以上の場合、分割できません。
- ファイルロック (☞ P.51) がかかっているファイルは分割できません。
- 分割後のファイルは、前半部分のファイルは「**ファイル名 _1.mp3**」、後半部分のファイルは「**ファイル名 _2.mp3**」となります。
- MP3 や PCM ファイルでも収録時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルを部分消去する [Partial Erase]

ファイルの不要な部分を消去できます。





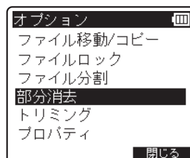
- 部分消去できるファイルは本機で録音したPCM 形式のみです。
- リスト表示画面のときは設定できません。

1 部分消去したいファイルを選ぶ

2 停止中に **F2**（**オプション**）ボタンを押す。

- ［**オプション**］画面が表示されます。

3 **+**または**−**ボタンを押して［**部分消去**］を選ぶ



4 **OK** ボタンを押す



5 **PLAY**（▶）ボタンを押して部分消去開始位置まで再生する

- 消去したい位置までファイルを進めます。ファイルが長い場合、▶▶I ボタンを使って部分消去したい位置まで進めます。

6 部分消去の開始位置で **F2**（**開始位置**）ボタンを押す

- **F2**（**開始位置**）ボタンを押した後も再生は続き、通常の再生中と同じように早送り・早戻しが行え、終了位置まで早く進めることができます。

7 部分消去を終了したい位置でもう一度 **F2**（**終了位置**）ボタンを押す



ⓐ 消去される部分

8 **+**ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



9 **OK** ボタンを押す

- ディスプレイが［**部分消去中 !**］にかわり、消去を開始します。
  ［**部分消去しました**］と表示されたら終了です。





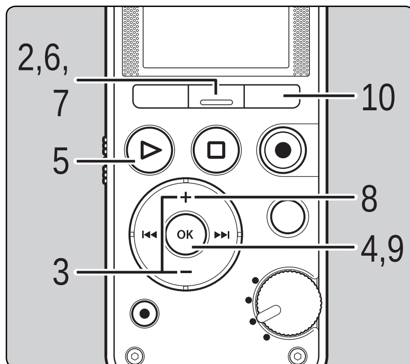


- 編集されたファイルの先頭で停止します。

10 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してオプション画面を終了する

ファイルの必要な部分だけを残す [Trimming]

ファイルの必要な部分だけを切り残して保存しなおします。





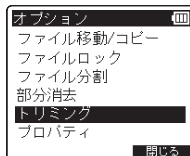
- トリミングできるファイルは本機で録音したPCM ファイルのみです。
- リスト表示画面のときは設定できません。

1 トリミングしたいファイルを選ぶ

2 停止中に **F2**（**オプション**）ボタンを押す。

- ［**オプション**］画面が表示されます。

3 **+**または**−**ボタンを押して［**トリミング**］を選ぶ



4 **OK** ボタンを押す



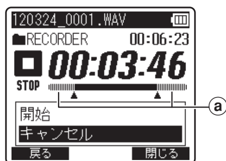
5 **PLAY**（▶）ボタンを押してトリミング開始位置まで再生する

- 残したい部分の先頭位置までファイルを進めます。ファイルが長い場合、▶▶I ボタンを使って残したい先頭位置まで進めます。

6 トリミング開始位置で **F2**（**開始位置**）ボタンを押す

- **F2**（**開始位置**）ボタンを押した後も再生は続き、通常の再生中と同じように早送り・早戻しが行え、終了位置まで早く進めることができます。

7 トリミング終了位置でもう一度 **F2**（**終了位置**）ボタンを押す



ⓐ 消去される部分

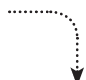
8 **+**ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



9 **OK** ボタンを押す

- ディスプレイが［**トリミング中 !**］にかわり、指定した位置より前の部分と指定した位置より後ろの部分を削除します。［**完了しました**］と表示されたら終了です。







- 編集されたファイルの先頭で停止します。

10 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してオプション画面を終了する

ご注意

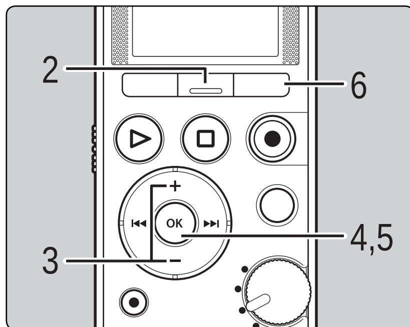
- PCM ファイルでも収録時間が極端に短いファイルはトリミングできない場合があります。

4

編集する

ファイルの情報を見る [Property]

メニュー画面からファイルの情報を確認できます。

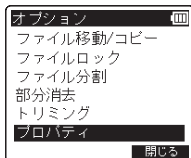


1 情報を表示したいファイルを選ぶ（☞ P.25）

2 停止中に **F2**（**オプション**）ボタンを押す

- ［**オプション**］画面が表示されます。

3 **+**または**−**ボタンを押して［**プロパティ**］を選ぶ

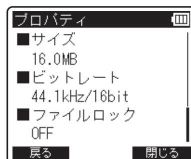


4 **OK** ボタンを押す

- ［**プロパティ**］画面に入ります。







- ［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］［**ビットレート**］*［**ファイルロック**］が表示されます。

* リニア PCM 形式のファイルを選んだ場合、［**ビットレート**］部にサンプリング周波数やビット数が表示されます。

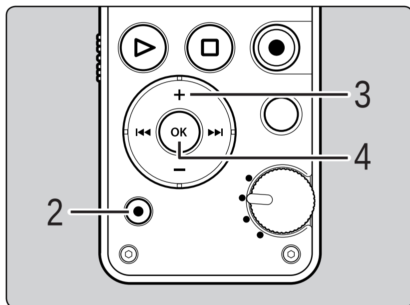
5 情報を確認したら **OK** ボタンを押して［**プロパティ**］画面から出る

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してオプション設定画面を終了する

消去する

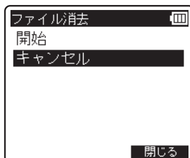
ファイルを消去する

フォルダ内の消去したいファイルを
消去できます。



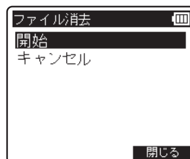
1 消去したいファイルを選ぶ
(☞ P.25)

2 ファイル表示画面で停止中に
ERASE ボタンを押す



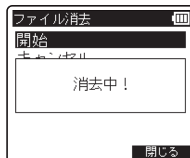
- 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

3 **+**ボタンを押して［**開始**］
を選ぶ

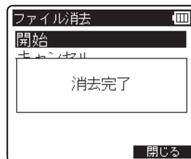


4 **OK** ボタンを押す

- ディスプレイが［**消去中！**］に変わり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

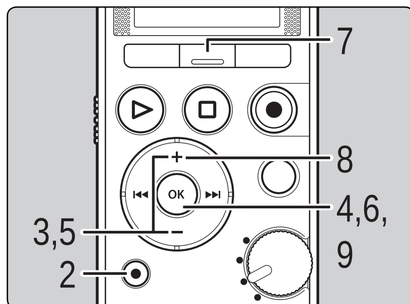






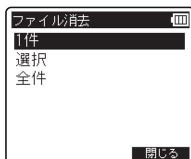
消去する

まとめてファイルを消去する



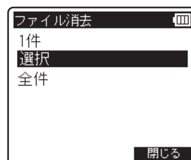
1 消去したいファイルがあるフォルダを選ぶ（☞ P.25）

2 リスト表示画面で **ERASE** ボタンを押す



- 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

3 **+**または**−**ボタンを押して［**選択**］または［**全件**］を選ぶ



［**選択**］：
　複数のファイルを選びます。
［**全件**］：
　フォルダ内のファイルをすべて選びます。

4 **OK** ボタンを押す

- ［**全件**］を選んだときは手順 8 へ進んでください。

5 **+**または**−**ボタンを押して消去したいファイルを選ぶ

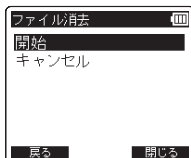


6 **OK** ボタンを押す

- 手順 5 と 6 を繰り返して消去するファイルを選びます。

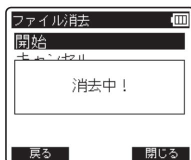
7 **F2**（**決定**）ボタンを押す

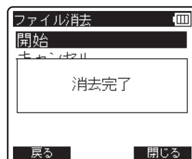
8 **+**ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



9 **OK** ボタンを押す

- ディスプレイが［**消去中！**］に変わり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。





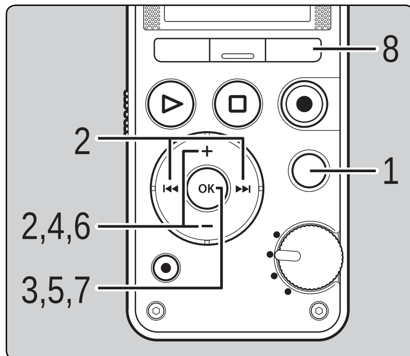
ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻せません。消去の前に十分確認してください。
- 本機に SD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**SD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.23、P.92）。
- ファイルロック設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません（☞ P.51）。
- SD カードが書き込み禁止に設定されていると、［**SD カードがロックされています**］と表示されます。消去を行う場合は、カードの書込み禁止を解除してください（☞ P.21）。
- 本機で認識できないファイルがある場合、そのファイルは消去されません。パソコンに接続して消去してください。
- 処理中に電池が切れることのないように新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
  ① 処理中に AC アダプタを取り外す。
  ② 処理中に電池を取り外す。
  ③ 記録メディアが［**SD カード**］の場合、処理中にカードを取り外す。
- 本機ではフォルダを削除することはできません。

メニューについて

メニュー設定のしかた

メニュー内の各項目は分類されているので、すばやく目的の項目が設定できます。
メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。



1 録音中、再生中または停止中に **MENU** ボタンを押す

- メニュー画面に入ります。



- 録音中または再生中に設定できるメニュー項目については、メニューの一覧をご覧ください（☞ P.66 ～ P.68）。

2 **+**、**−**または ▶▶I、I◀◀ ボタンを押して設定したい項目を選ぶ



3 **OK** ボタンを押す

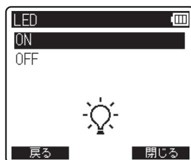


4 **+**または**−**ボタンを押して設定項目を選ぶ



5 **OK** ボタンを押す

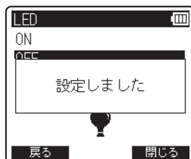
- 選んだ項目の設定に移動します。
- ▶▶I ボタンを押しても操作できます。



6 **+**または**−**ボタンを押して設定を変更する



7 **OK** ボタンを押して設定を完了する



- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。
- **OK** ボタンを押さずに **F1**（**戻る**）ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

8 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合、**F3**（**閉じる**）ボタンを押すと、録音または再生を中断させることなく元の画面に戻ります。

ご注意

- 停止中からの設定では、3 分間何も操作しないと停止状態に戻ります。この場合、設定途中の項目は変更されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8 秒間何も操作しないとメニュー機能はキャンセルされます。

メニューの一覧

録音に関するメニュー設定

	設定項目	選択肢
録音設定 [Rec Menu]	**マイクゲイン** [Mic Gain] ☞ P.69	[HI] [MID] [LO]
	リミッター [Limiter] ☞ P.70	[音楽] [音声] [OFF]
	録音フォーマット [Rec Format] ☞ P.71	[PCM] [MP3] 録音形式ごとに録音レートを設定できます。
	ローカットフィルタ [Low Cut Filter] ☞ P.73	[300 Hz] [100 Hz] [OFF]
	プラグインパワー [Plug-in Power] ☞ P.74	[ON] [OFF]
	マイク選択 [Mic Select] ☞ P.75	[センターマイク ON] [センターマイク OFF]
	プリレコーディング [Pre-Recording] ☞ P.76	[ON] [OFF]
	録音モニター [Rec Monitor] ☞ P.77	[ON] [OFF]
	スマート設定時間 [Smart Time] ☞ P.78	[10 秒] [30 秒] [1 分] [エンドレス]
	メトロノーム [Metronome] ☞ P.79	[テンポ]：[40] ～ [120] ～ [250] [音]：[メトロノーム 1] [メトロノーム 2] [ビート]：[0] ～ [9] [音量]：[音量 1] ～ [音量 3] ～ [音量 5]

再生に関するメニュー設定

	設定項目	選択肢
再生設定 [Play Menu]	**再生モード** [Play Mode] ☞ P.81	[再生範囲]： [ファイル] [フォルダ] [リピート]： [ON] [OFF]
	スキップ間隔 [Skip Space] ☞ P.83	[スキップ]： [ファイル スキップ] [10 秒] [30 秒] [1 分] [5 分] [10 分] [逆スキップ]： [ファイル スキップ] [5 秒] [10 秒] [30 秒] [1 分] [5 分]


選択肢欄の　　　表記は初期設定です

メニューの一覧

ディスプレイや音に関するメニュー設定

	設定項目	選択肢
表示／音設定 [LCD/Sound Menu]	**バックライト** [Backlight] ☞ P.85	[5 秒] [10 秒] [30 秒] [1 分] [O F F]
	コントラスト [Contrast] ☞ P.86	[01] ～ [06] ～ [12]
	LED [LED] ☞ P.87	[ON] [O F F]
	ビープ音 [Beep] ☞ P.88	[音量 1] [音量 2] [音量 3] [O F F]
	言語選択（Lang） [Language(Lang)] ☞ P.89	[日本語] [English]
	音声ガイド [Voice Guide] ☞ P.90	[ON / O F F]： [ON] [O F F] [スピード]： [スピード 1] ～ [スピード 3] ～ [スピード 5] [音量]： [音量 1] ～ [音量 3] ～ [音量 5]

本機に関するメニュー設定

	設定項目	選択肢
本体設定 [Device Menu]	**メモリ選択** [Memory Select] ☞ P.92	[内蔵メモリ] [SD カード]
	スリープ [Power Save] ☞ P.93	[5 分] [10 分] [30 分] [1 時間] [OFF]
	時計設定 [Time & Date] ☞ P.94	[時] [分] [年] [月] [日]
	USB 設定 [USB Settings] ☞ P.95	[USB 接続]： [PC 接続] [AC アダプタ接続] [毎回確認] [USB クラス]： [ストレージ] [コンポジット]
	設定リセット [Reset Settings] ☞ P.96	メニュー設定を初期設定に戻します。
	初期化 [Format] ☞ P.98	メモリを初期化します。
	メモリ情報 [Memory Info.] ☞ P.100	メモリの残量と容量を表示します。
	システム情報 [System Info.] ☞ P.101	[モデル] [バージョン] [シリアル番号]

メニューの一覧

録音動作中のメニュー設定

設定項目	選択肢
マイクゲイン	メニュー項目の選択肢へ
ローカットフィルタ	
プラグインパワー	
録音モニター	
メトロノーム	

再生動作中のメニュー設定

設定項目	選択肢
再生モード	メニュー項目の選択肢へ
スキップ間隔	

録音設定［Rec Menu］



マイクゲインの設定［Mic Gain］

目的に合わせて内蔵マイクの感度を切り替えます。

1 停止中または録音中に **MENU** ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.64）。
- 録音中の場合は、手順 3 に進んでください。



2 **OK** ボタンを押す

- ［**録音設定**］画面に入ります。



3 **OK** ボタンを押す

- ［**マイクゲイン**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して［**HI**］、［**MID**］または［**LO**］を選ぶ



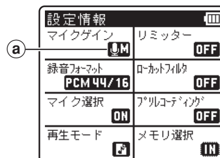
［**HI**］：打合せや少人数の会議などの録音に適しています。
［**MID**］：演奏を録音するのに適しています。
［**LO**］：大音量の演奏を録音するのに適しています。

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定内容を確認するには、［**ホーム**］画面で **F3**（**INFO**）ボタンを押し続けてください（☞ P.23）。



ⓐ マイクゲイン



ご注意

- モードダイヤルの位置が［**QUICK**］のときに有効になります。モードダイヤルの位置が［**SMART**］* または [**MANUAL**] のときは録音レベル調整機能で調整してください（☞ P.31）。
  * ［**SMART**］モードのときは［**スマート設定時間**］の時間終了後に録音レベルを調整できます（☞ P.78）。

リミッターの設定［Limiter］

録音時の入力音量に応じて自動補正する機能を切り替えます。

1 マイクゲインの設定［**Mic Gain**］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.69）

- 停止中に操作してください。

2 **+**または**−**ボタンを押して［**リミッター**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**リミッター**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して［**音楽**］、［**音声**］または［**OFF**］を選ぶ



［**音楽**］：音量の大小を明確にします。音楽録音に適した設定です。
［**音声**］：音量の大小を平坦にします。一定の音量で統一感のある録音ができます。音声録音に適した設定です。
［**OFF**］：補正機能を使わずに、入力レベルを調整する場合に選びます。

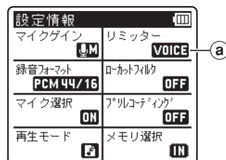


- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定内容を確認するには、［**ホーム**］画面で **F3**（**INFO**）ボタンを押し続けてください（☞ P.23）。



ⓐリミッター

ご注意

- モードダイヤルの位置が［**SMART**］または［**MANUAL**］のときに有効になります（☞ P.29、P.30）。
- ［**リミッター**］の設定を［**音楽**］または［**音声**］に設定していても、あまりにも大きな音を入力するとノイズが発生することがあります。また、このときには過入力をお知らせする PEAK 表示ランプが点灯しない場合があります。失敗のない録音のために試し録りをしてください。

録音フォーマットの設定［Rec Format］

CD レベル以上の音質で記録できるリニア PCM 形式と、ファイルを高圧縮で保存できる MP3 形式の録音に対応しています。

1 マイクゲインの設定［**Mic Gain**］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.69）

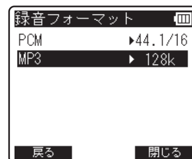
- 停止中に操作してください。

2 **+**または**−**ボタンを押して［**録音フォーマット**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**録音フォーマット**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して録音フォーマットを選ぶ



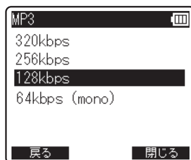
［**PCM**］：音楽 CD などに採用されている非圧縮音声形式です。

［**MP3**］：一般的な音声の圧縮方式です。PCM 形式よりもファイルサイズが小さくなります。

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。



5 OK ボタンを押す

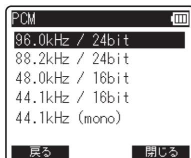


例：
［**MP3**］を選んだ場合

6 ＋または－ボタンを押して録音レートを選ぶ

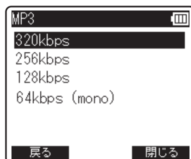
■［**PCM**］***1** を選んだ場合：

［**96.0 kHz/24 bit**］～
［**44.1 kHz(mono)**］***2**



■［**MP3**］を選んだ場合：

［**320 kbps**］～
［**64 kbps (mono)**］***2**



***1** PCM（WAV）形式で録音したファイルは、BWF（Broadcast Wave Format）に対応し、作成日時が記録されたファイルとなります。
***2** モノラル録音になります。

- サンプリングレートやビット数、ビットレートは数値が高いほどより高音質な規格になります。
- 高い録音レートに設定した場合、ファイル容量が大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が充分にあるかご確認ください（☞ P.19）。
- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

7 OK ボタンを押して設定を完了する

8 F3（閉じる）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定内容を確認するには、［**ホーム**］画面で **F3**（**INFO**）ボタンを押し続けてください（☞ P.23）。



ⓐ録音フォーマット

ご注意

- 演奏や合唱などを録音したい場合、［**録音フォーマット**］の設定を［**mono**］以外にして録音してください。
- ［**録音フォーマット**］の設定をステレオ形式にした場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとＬチャンネルのみに音声が録音されます。



ローカットフィルタの設定 [Low Cut Filter]

録音時に低周波音をカットし、音声をよりクリアに録音するローカットフィルタ機能を搭載しています。エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。

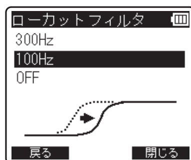
1 マイクゲインの設定［**Mic Gain**］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります (☞ P.69)

2 **+**または**−**ボタンを押して［**ローカットフィルタ**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**ローカットフィルタ**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して［**300Hz**］、［**100Hz**］または［**OFF**］を選ぶ



［**300Hz**］：［**100Hz**］の設定で効果が十分に得られない場合におためしください。

［**100Hz**］：エアコンやプロジェクターの付近などで発生するノイズを軽減する機能です。屋内で録音するときに効果があります。

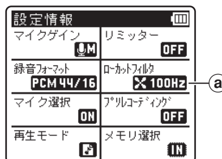
［**OFF**］：機能しません。

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定内容を確認するには、［**ホーム**］画面で **F3**（**INFO**）ボタンを押し続けてください (☞ P.23)。



ⓐローカットフィルタ



プラグインパワーの設定［Plug-in Power］

プラグインパワー機能に対応した外部マイクをご使用できます。外部マイクに電源を供給する・しないを設定できます。

1 マイクゲインの設定［**Mic Gain**］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります (☞ P.69)

2 **+**または**−**ボタンを押して［**プラグインパワー**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**プラグインパワー**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］: プラグインパワーが機能します。接続した外部マイクに電源を供給します。プラグインパワー対応の外部マイクを接続した場合に選びます (☞ P.116)。

［**OFF**］: 機能しません。プラグインパワーに対応していない外部マイクを接続した場合に選びます。

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- プラグインパワーに対応していない外部マイクを接続した場合、プラグインパワー機能を［**OFF**］にしてください。録音時にノイズが出るおそれがあります。



マイク選択の設定 [Mic Select]

内蔵センターマイクのオン／オフを切り替えます。

1 マイクゲインの設定［**Mic Gain**］の手順 1 〜 2 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.69）

- 停止中に操作してください。

2 **+**または**−**ボタンを押して［**マイク選択**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**マイク選択**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して［**センターマイク ON**］または［**センターマイク OFF**］を選ぶ



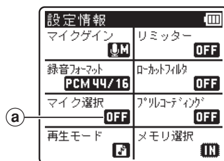
［**センターマイク ON**］：3 マイクモード録音になります。
［**センターマイク OFF**］：内蔵ステレオマイクのみの録音になります。

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定内容を確認するには、［**ホーム**］画面で **F3**（**INFO**）ボタンを押し続けてください（☞ P.23）。



ⓐ マイク選択



プリレコーディングの設定［Pre-Recording］

プリレコーディングは、録音開始最大２秒前 * からの音声に続けて録音を行う機能です。例えば小鳥の鳴き声を録音する場合、鳴いたときに録音ボタンを押すと、小鳥が鳴く最大２秒前 * から録音が始まります。

* ［**録音フォーマット**］の設定によって異なります。

1 マイクゲインの設定［**Mic Gain**］の手順１～２と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.69）

- 停止中に操作してください。

2 **+**または**−**ボタンを押して［**プリレコーディング**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**プリレコーディング**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：録音開始最大２秒前からの音声を継続して録音します。

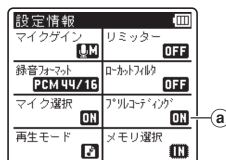
［**OFF**］：通常の録音になります。

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定内容を確認するには、［**ホーム**］画面で **F3**（**INFO**）ボタンを押し続けてください（☞ P.23）。



ⓐプリレコーディング

プリレコーディングを使うには

プリレコーディングを使って録音する場合、［**プリレコーディング**］を［**ON**］に設定します。



モードダイヤルの位置が［**MANUAL**］のときに有効になります。

1 停止中に **REC**（●）ボタンを押す

- 録音一時停止状態になります。常に最大２秒の枠内で録音しています。

2 **REC**（●）ボタンを押す

- 録音を開始する最大２秒前から記録します。
- ［**プリレコーディング**］機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
  - ［**OVER DUB**］（☞ P.35）



録音モニターの設定［Rec Monitor］

録音中の音声を **EAR** ジャックから出力する／しないを選べます。

1 マイクゲインの設定［**Mic Gain**］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.69）

2 **+**または**−**ボタンを押して［**録音モニター**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**録音モニター**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：録音モニターが機能します。**EAR** ジャックから音声を出力します。

［**OFF**］：機能しません。**EAR** ジャックから音声を出力しません。

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になるか、録音中は［**録音モニター**］を［**OFF**］にすることをおすすめします。



スマート設定時間の設定［Smart Time］

［**SMART**］モード時の自動調整時間を設定します。

1 マイクゲインの設定［**Mic Gain**］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります (☞ P.69)

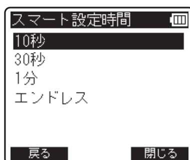
- 停止中に操作してください。

2 **+**または**−**ボタンを押して［**スマート設定時間**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**スマート設定時間**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して設定を選ぶ



［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］：自動調整が終わるまでの時間を設定します。

［**エンドレス**］：スキップするまで音量調整を続けます。

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する



メトロノームの設定 [Metronome]

録音時のリズムガイドとしてメトロノームを設定できます。録音一時停止中でも設定できます。本機のスピーカからメトロノームの音は出力されません。

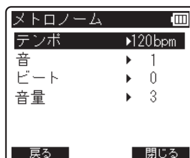
1 マイクゲインの設定［**Mic Gain**］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります (☞ P.69)

2 **+**または**−**ボタンを押して［**メトロノーム**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**メトロノーム**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンで設定する項目を選ぶ



［**テンポ**］：メトロノームのテンポを設定します。
［**音**］：メトロノームの音の種類を設定します。
［**ビート**］：メトロノームのリズムパターンを設定します。
［**音量**］：メトロノームの音量を設定します。

5 **OK** ボタンを押してそれぞれの設定に移る

■［**テンポ**］を選んだ場合：

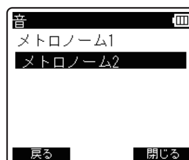
① **+**または**−**ボタンを押してメトロノームのテンポを選び、**OK** ボタンを押す。



- メトロノームのテンポは [**40**] から [**250**] の間で選べます。

■［**音**］を選んだ場合：

① **+**または**−**ボタンを押してメトロノームの音の種類を選び、**OK** ボタンを押す。



- 音の種類は [**メトロノーム 1**] または [**メトロノーム 2**] から選べます。



■［**ビート**］を選んだ場合：

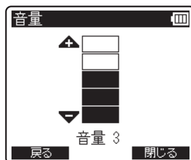
① **＋**または**－**ボタンを押してメトロノームのリズムパターンを選び、**OK** ボタンを押す。



• リズムパターンは [**0**] から [**9**] の間で設定できます。

■［**音量**］を選んだ場合：

① **＋**または**－**ボタンを押してメトロノームの音量を選び、**OK** ボタンを押す。



• 音量は［**音量 1**］から［**音量 5**］の間で設定できます。

• 他の設定を変更する場合、手順 4 ～手順 5 を繰り返してください。
• **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**メトロノーム**］画面に戻ります。

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

• メトロノーム機能を使うときは、録音または録音一時停止中に **F1**（**メトロノーム**）ボタンを押します（☞ P.36)。
• メトロノームの音は **EAR** ジャックから出力します。イヤホンを接続して使用してください。
• メトロノームの音は録音されません。
• ［**録音モニター**］の設定が［**Off**］になっている場合は、メトロノームの音は出力されません（☞ P.77)。

速度標語とめやすとなるテンポ

LARGO（ラルゴ）	幅広く、ゆるやかに	♩=40 ～ 59
LARGHETTO（ラルゲット）	やや遅く	♩=60 ～ 65
ADAGIO（アダージョ）	ゆっくりと	♩=66 ～ 75
ANDANTE（アンダンテ）	歩くような速さで	♩=76 ～ 107
MODERATO（モデラート）	控えめなスピードで	♩=108 ～ 119
ALLEGRO（アレグロ）	快速に	♩=120 ～ 167
PRESTO（プレスト）	急いだスピードで	♩=168 ～ 200
PRESTISSIMO（プレスティッシモ）	極めて速く	♩=201 ～ 250



再生モードの設定［Play Mode］

お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。

1 停止中または再生中に **MENU** ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.64）。
- 再生中の場合は、手順 4 に進んでください。

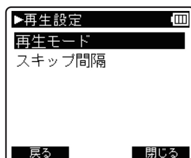


2 **+**、**−**または **▶▶|**、**|◀◀** ボタンを押して［**再生設定**］を選ぶ



3 **OK** ボタンを押す

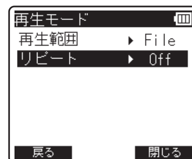
- ［**再生設定**］画面に入ります。



4 **OK** ボタンを押す

- ［**再生モード**］画面に入ります。

5 **+**または**−**ボタンを押して［**再生範囲**］または［**リピート**］を選ぶ



［**再生範囲**］：ファイル再生の範囲を指定します。

［**リピート**］：リピート再生の設定をする場合に選びます。

6 **OK** ボタンを押す

- ［**再生範囲**］または［**リピート**］画面に入ります。





7 **+**または**−**ボタンを押して設定を選ぶ

■［**再生範囲**］を選んだ場合：

［**ファイル**］：現在のファイルを再生後に停止します。
［**フォルダ**］：現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止します。



■［**リピート**］を選んだ場合：

［**ON**］：再生範囲をリピート再生します。
［**OFF**］：リピート再生を解除します。

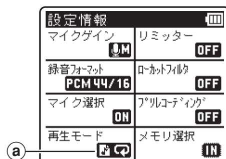


- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

8 **OK** ボタンを押して設定を完了する

9 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定内容を確認するには、［**ホーム**］画面で **F3**（**INFO**）ボタンを押し続けてください（☞ P.23)。



ⓐ再生モード

ご注意

- ［**ファイル**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- ［**フォルダ**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。



スキップ間隔の設定 [Skip Space]

再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

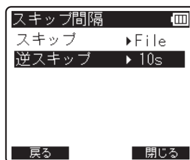
1 再生モードを選ぶ［**Play Mode**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**再生設定**］画面に入ります（☞ P.81）

2 **+**または**−**ボタンを押して［**スキップ間隔**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**スキップ間隔**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して［**スキップ**］または［**逆スキップ**］を選ぶ



［**スキップ**］：設定した間隔分だけ送って再生を開始します。
［**逆スキップ**］：設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

5 **OK** ボタンを押す

- ［**スキップ**］または［**逆スキップ**］画面に入ります。



6 **+**または**−**ボタンを押して設定を選ぶ

■［**スキップ**］を選んだ場合：

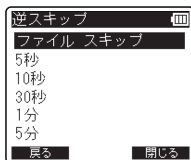
［**ファイル スキップ**］［**10 秒**］
［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］［**10 分**］





■［**逆スキップ**］を選んだ場合：

［**ファイル スキップ**］［**5 秒**］
［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］



- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**スキップ間隔**］画面に戻ります。

7 **OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク･テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。

スキップ・逆スキップ再生のしかた

1 **PLAY**（▶）ボタンを押して再生を開始する

2 再生中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押す

- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

表示／音設定［LCD/Sound Menu］ 

バックライトの設定［Backlight］

ボタンを押すたびにディスプレイのバックライトが約 10 秒間（初期設定）点灯します。

1 停止中に **MENU** ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.64）。



2 **+**、**−**または ▶▶I、I◀◀ ボタンを押して［**表示／音設定**］を選ぶ



3 **OK** ボタンを押す

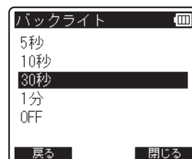
- ［**表示／音設定**］画面に入ります。



4 **OK** ボタンを押す

- ［**バックライト**］画面に入ります。

5 **+**または**−**ボタンを押して設定を選ぶ



［**5 秒**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］：バックライトの点灯時間を設定します。

［**OFF**］：バックライトは点灯しません。

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

6 **OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

コントラストの設定［Contrast］

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

1 バックライトの設定［**Backlight**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります（☞ P.85）

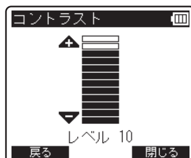
2 **+**または**−**ボタンを押して［**コントラスト**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**コントラスト**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押してレベルを調整する

- ［**01**］から［**12**］の間で調整を行います。



- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する



LED の設定［LED］

LED 表示ランプを点灯しないように設定できます。

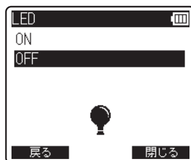
1 バックライトの設定［**Backlight**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります（☞ P.85）

2 **+**または**−**ボタンを押して［**LED**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**LED**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して設定を変更する



［**ON**］：LED が点灯します。
［**OFF**］：LED は点灯しません。

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ビープ音の設定［Beep］

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。ビープ音を出したくないときは鳴らないように設定することもできます。

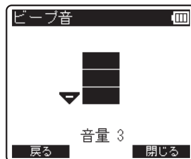
1 バックライトの設定［**Backlight**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります（☞ P.85）

2 **+**または**−**ボタンを押して［**ビープ音**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**ビープ音**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して設定を変更する



［**音量 3**］: ビープ音の音量を大きくします。
［**音量 2**］: ビープ音を通常の音量にします。
［**音量 1**］: ビープ音の音量を小さくします。
［**OFF**］: ビープ音が鳴りません。

- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する



言語の設定 [Language(Lang)]

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

1 バックライトの設定［**Backlight**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります（☞ P.85）

2 **+**または**−**ボタンを押して［**言語選択（Lang)**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**言語選択（Lang)**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して設定を変更する



- **F1**（**戻る**）ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する



音声ガイドの設定 [Voice Guide]

本機の操作状況を音声でアナウンスする機能です。アナウンスの On/Off、スピードや音量を調節してご使用ください。［**言語選択**］(☞ P.89) 機能で言語を［**English**］に切り替えると、英語で音声ガイドを行います。

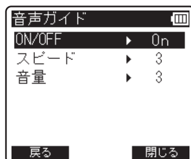
1 バックライトの設定［**Backlight**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります（☞ P.85）

2 **+**または**−**ボタンを押して［**音声ガイド**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**音声ガイド**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して設定項目を選ぶ

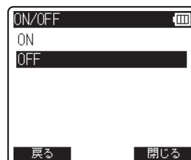


5 **OK** ボタンを押して、それぞれの設定に移る

- ［**ON/OFF**］［**スピード**］［**音量**］の中から、設定したい項目を選んでください。

■［ON/OFF］の設定：

① ＋またはーボタンを押して［**ON/OFF**］の設定を選び、**OK** ボタンを押す。



［**ON**］：音声ガイドが有効になります。
［**OFF**］：音声ガイドが無効になります。

■［スピード］の設定：

音声ガイドのスピードを設定します。
① ＋またはーボタンを押して［**スピード**］の設定を選び、**OK** ボタンを押す。

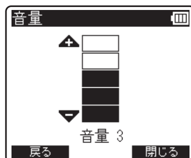




■［**音量**］の設定：

音声ガイドの音量を設定します。

① ＋または－ボタンを押して［**音量**］の設定を選び、**OK** ボタンを押す。



- 他の設定を変更する場合、手順４～手順５を繰り返してください。

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 電源をオン／オフ（☞ P.16）する際の起動音／終了音は、［**音声ガイド**］を［**OFF**］に設定すると解除されます。
- ［**音声ガイド**］の［**音量**］設定で、起動音／終了音の音量も設定されます。
- ファイル再生中は、［**音声ガイド**］の［**スピード**］設定が無効になります。



メモリ選択の設定 [Memory Select]

SD カードを入れると、内蔵メモリに記録するか SD カードに記録するか選べます（☞ P.20）。

1 停止中に **MENU** ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.64）。

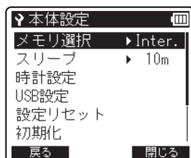


2 **+**、**−**または ▶▶I、I◀◀ ボタンを押して［**本体設定**］を選ぶ



3 **OK** ボタンを押す

- ［**本体設定**］画面に入ります。



4 **OK** ボタンを押す

- ［**メモリ選択**］画面に入ります。

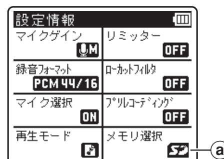
5 **+**または**−**ボタンを押して記録メディアを選ぶ



6 **OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 記録メディアを確認するには、［**ホーム**］画面で **F3**（**INFO**）ボタンを押し続けてください。



ⓐ記録メディア



スリープの設定［Power Save］

電源を入れて停止状態のまま 10 分以上（初期設定）経過するとスリープ（省電力）モードになります。

1 記録するメディアを選択する［**Memory Select**］の手順 1 〜 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.92）

2 **+**または**−**ボタンを押して［**スリープ**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**スリープ**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して時間を設定する



［**5 分**］［**10 分**］［**30 分**］［**1 時間**］：お好みの時間を設定してください。
［**OFF**］：省電力モードは働きません。そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- スリープモードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。



時計の設定［Time & Date］

現在日時が合っていない場合、下記の手順で設定してください。

1 記録するメディアを選択する［**Memory Select**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.92）

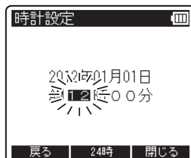
2 **+**または**−**ボタンを押して［**時計設定**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

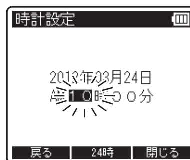
- ［**時計設定**］画面に入ります。

4 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ

- 「**時**」「**分**」「**年**」「**月**」「**日**」の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。



5 **+**または**−**ボタンを押して設定する



- 以下同じように ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定項目を選び、**+**または**−**ボタンを押して設定を行います。

6 **OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する



USB の設定［USB Settings］

パソコンと接続してファイルの送受信などを行う［**PC 接続**］や USB 接続 AC アダプタ（A514）（別売）を使うときに設定する［**AC アダプタ接続**］の他に、用途に合わせて USB クラス（［**コンポジット**］［**ストレージ**］）の切り替えが可能です。

1 記録するメディアを選択する［**Memory Select**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.92）

2 **＋**または**－**ボタンを押して［**USB 設定**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**USB 設定**］画面に入ります。

4 **＋**または**－**ボタンを押して［**USB 接続**］または［**USB クラス**］を選ぶ



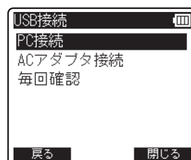
［**USB 接続**］：パソコンと接続したときの設定をします。
［**USB クラス**］：USB クラスの設定をします。

5 **OK** ボタンを押す

- ［**USB 接続**］または［**USB クラス**］画面に入ります。

6 **＋**または**－**ボタンを押して設定を選ぶ

■［**USB 接続**］を選んだ場合：



［**PC 接続**］：パソコンに接続するときの設定です。ストレージまたはコンポジットとして接続されます。
［**AC アダプタ接続**］：パソコンから電源を得たり、AC アダプタ（A514）（別売）に接続するときの設定です。
［**毎回確認**］：USB 接続をするごとに接続方法を確認する設定です。

■［**USB クラス**］を選んだ場合：



［**ストレージ**］：パソコン側から外部記憶装置として認識されます。
［**コンポジット**］：パソコンと接続し、外部記憶装置、USB スピーカおよびマイクとして使うときの設定です。



7 **OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 外部記憶装置として初めてパソコンに接続すると、自動的に本機のドライバがパソコンにインストールされます。
- ［**USB 接続**］の設定が［**AC アダプタ接続**］の場合、パソコンに接続しても認識されません。
- パソコン側から外部記憶装置として認識されない場合、［**USB クラス**］の設定を［**ストレージ**］に切り替えてください。

設定をリセットする［Reset Settings］

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。

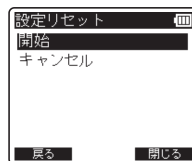
1 記録するメディアを選択する［**Memory Select**］の手順 1 〜 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.92）

2 **＋**または**－**ボタンを押して［**設定リセット**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**設定リセット**］画面に入ります。

4 **＋**ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

- 各種設定が初期値に戻ります。

6 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する



設定リセット後のメニュー設定（初期設定）

録音設定

メニュー項目	初期設定
［マイクゲイン］（☞ P.69）	［**MID**］
［リミッター］（☞ P.70）	［**OFF**］
［録音フォーマット］（☞ P.71）	［**PCM 44.1kHz/16bit**］
［ローカットフィルタ］（☞ P.73）	［**OFF**］
［プラグインパワー］（☞ P.74）	［**ON**］
［マイク選択］（☞ P.75）	［**センターマイク ON**］
［プリレコーディング］（☞ P.76）	［**OFF**］
［録音モニター］（☞ P.77）	［**ON**］
［スマート設定時間］（☞ P.78）	［**30 秒**］
［メトロノーム］（☞ P.79）	テンポ：［**120**］ 音：［**メトロノーム 1**］ ビート：［**0**］ 音量：［**音量 3**］

再生設定

メニュー項目	初期設定
［再生モード］（☞ P.81）	再生範囲： ［**ファイル**］ リピート再生： ［**OFF**］
［スキップ間隔］（☞ P.83）	スキップ再生： ［**ファイル スキップ**］ 逆スキップ再生： ［**ファイル スキップ**］

表示 / 音設定

メニュー項目	初期設定
［バックライト］（☞ P.85）	［**10 秒**］
［コントラスト］（☞ P.86）	［**06**］
［LED］（☞ P.87）	［**ON**］
［ビープ音］（☞ P.88）	［**音量 2**］
［言語選択］（☞ P.89）	［**日本語**］
［音声ガイド］（☞ P.90）	ON/OFF：［**ON**］ スピード：［**スピード 3**］ 音量：［**音量 3**］

本体設定

メニュー項目	初期設定
［メモリ選択］（☞ P.92）	［**内蔵メモリ**］
［スリープ］（☞ P.93）	［**10 分**］
［USB 設定］（☞ P.95）	USB 接続： ［**PC 接続**］ USB クラス： ［**ストレージ**］

ご注意

- 設定リセット後の時計設定やファイル番号については、初期設定には戻らず設定リセット前の設定を保持します。



初期化する［Format］

初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

1 記録するメディアを選択する［**Memory Select**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.92）

2 **+**または**−**ボタンを押して［**初期化**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

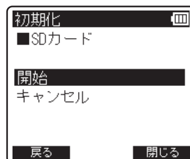
- ［**初期化**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して初期化する記録メディアを選ぶ



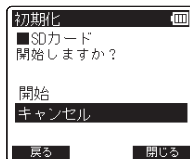
5 **OK** ボタンを押す

6 **+**ボタンを押して［**開始**］を選ぶ

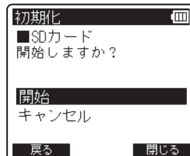


7 **OK** ボタンを押す

- ［**データが完全に消去されます**］が 2 秒間表示され、［**開始**］、［**キャンセル**］が点灯します。



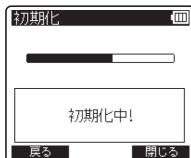
8 **+**ボタンを押してもう一度［**開始**］を選ぶ

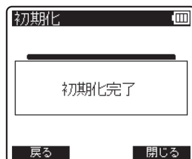




9 **OK** ボタンを押す

- ［**初期化中**］が表示され、初期化が開始されます。





- ［**初期化完了**］が表示されたら初期化終了です。

ご注意

- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化 をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、［**設定リセット**］を操作してください（☞ P.96）。
- SD カードが書き込み禁止に設定されていると、［**SD カードがロックされています**］と表示されます。初期化を行う場合は、カードの書込み禁止を解除してください（☞ P.21）。
- 本機に SD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**SD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.23、P.92）。
- 初期化中に電池が切れることのないように新しい電池に交換してください。また、初期化が完了するまで数十秒かかる場合があります。初期化中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
  ① 初期化中に AC アダプタを取り外す。
  ② 初期化中に電池を取り外す。
  ③ 記録メディアが［**SD カード**］の場合、初期化中に SD カードを取り外す。
- 本機での SD カードの初期化はクイックフォーマットとなります。SD カード内のデータは、［**初期化**］をしてもファイル管理情報が更新されるだけで完全には消去されません。譲渡・廃棄をする場合には、SD カード内にあるデータの流出にご注意ください。廃棄の際には、SD カードを破壊するなどの対処をおすすめします。

メモリの情報を見る［Memory Info.］

メニュー画面から記録メディアの記録可能残量や容量を表示できます。

1 記録するメディアを選択する［**Memory Select**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.92）

2 **＋**または**－**ボタンを押して［**メモリ情報**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**メモリ情報**］画面に入ります。

メモリ情報	
■内蔵メモリ	
残量	3.1GB
容量	4GB
■SDカード	
残量	12.3GB
容量	16GB
戻る	閉じる

4 情報を確認したら、**OK** ボタンを押して［**メモリ情報**］画面から出る

5 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。



システム情報を見る［System Info.］

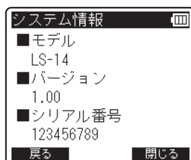
メニュー画面から本機の情報を確認できます。

1 記録するメディアを選択する［**Memory Select**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.92）

2 **+**または**−**ボタンを押して［**システム情報**］を選ぶ

3 **OK** ボタンを押す

- ［**システム情報**］画面に入ります。



- ［**モデル名**］［**バージョン**］［**シリアル番号**］が表示されます。

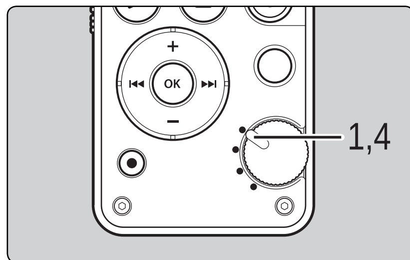
4 情報を確認したら、**OK** ボタンを押して［**システム情報**］画面から出る

5 **F3**（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

チューナーについて

チューナーを使う

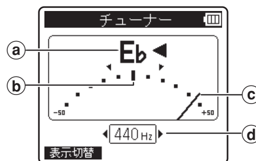
本機のクロマチックチューナー機能を使って楽器を調律できます。入力された音と基準音の差を視覚化して表示します。



1 モードダイヤルを［♆］の位置に合わせる



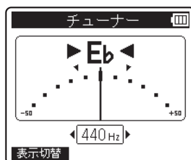
2 楽器を単音で鳴らしてチューニングする



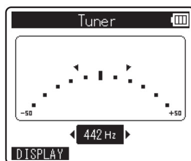
ⓐ 入力音に最も近い音名
ⓑ 基準音の目標位置
ⓒ チューニングメーター
ⓓ キャリブレーション値

- 認識した音に一番近い音名が表示されます。
- **F1**（**表示切替**）ボタンを押すたびに波形表示とメーター表示が切り替わります。
- 波形表示は、音程の変化が視覚的にわかるので、管楽器の練習などに便利です。

3 チューニングメーターとランプを見ながら調整する



- メーターの中央にバーが表示されるようにチューニングします。
- 本機の LED 表示ランプも連動します。メーターの中央にバーが表示されると左右の LED 表示ランプが同時に点灯します。ディスプレイが見えにくい場合でもチューニングが行えます。
- キャリブレーションを変更するには ▶▶I または I◀◀ ボタンを押します。基準音 A の周波数を 435Hz ～ 445Hz の間で 1Hz 刻みで調整できます。



4 モードダイヤルを［Ψ］以外の位置にしてチューナーモードを終了する

本機をパソコンでお使いいただくためには

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- パソコンに取り込んだ MP3・WAV 形式のファイルを転送し、本機でお楽しみいただけます。
- 本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます（☞ P.110）。

パソコンの動作環境

Windows

OS（オペレーティングシステム）：

Microsoft Windows XP/Vista/7/8

標準インストール（日本語版）

対応パソコン：

1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Windows 対応パソコン

Macintosh

OS（オペレーティングシステム）：

Mac OS X 10.4.11 ～ 10.8

標準インストール（日本語版）

対応パソコン：

1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Apple Macintosh シリーズ

ご注意

- 本機で録音したファイルを USB 接続でパソコンに保存する際の動作環境です。
- パソコンが USB ポートを備えていても、Windows 95/98/Me/2000 から XP/Vista/7/8 にアップグレードした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。

パソコンの動作環境

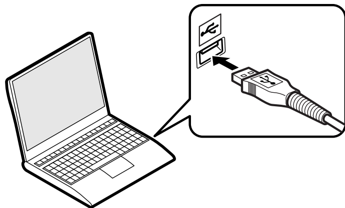
本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の PEAK 表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB 接続を外さないでください。また、USB 接続を外す場合、必ず ☞ P.107 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の［**初期化**］画面から行ってください（☞ P.98）。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続する場合、外部マイクやイヤホンを外してください。

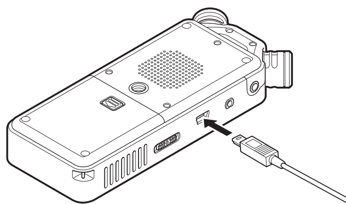
パソコンに接続する

1 パソコンを起動する

2 USB 接続ケーブルをパソコンの USB ポートに接続する



3 本機が停止または電源が切れている状態で、本機の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する



- USB 接続中は、本機のディスプレイに［**PC と接続中です**］と表示されます。
- 本機の USB 接続設定で、［**AC アダプタ接続**］を設定していると、パソコンと接続状態になりません。USB 接続設定を［**PC 接続**］にしてください（☞ P.95）。
- Windows の場合、［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。SD カードが入っていると、［**リムーバブルディスク**］として使用できます。
- Macintosh の場合、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。SD カードが入っている場合は［**Untitled**］と表示されます。

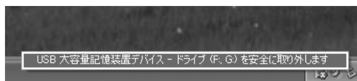
ご注意

- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB 接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

パソコンから取り外す

Windows

1 画面右下のタスクバーの［ ］をクリックして、［**USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します**］をクリックする



- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら、ウィンドウを閉じてください。

2 本機の PEAK 表示ランプが消灯していることを確認し、本機をパソコンから取り外す

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動する



2 本機の PEAK 表示ランプが消灯していることを確認し、本機をパソコンから取り外す

ご注意

- PEAK 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルをパソコンに取り込む

本機の 4 つのフォルダは、パソコン上でそれぞれ［**RECORDER**］、［**01**］、［**02**］、［**03**］という名前で表示されます。パソコン内のお好きなフォルダにコピーしてください。

Windows

1 本機をパソコンに接続する
（☞ P.106）

2 エクスプローラを起動する

- ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。
  SD カードが入っていると、［**リムーバブルディスク**］として使用できます。

3 製品名のフォルダをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す
（☞ P.107）

Macintosh

1 本機をパソコンに接続する
（☞ P.106）

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。SD カードが入っている場合、［**Untitled**］というドライブ名で認識されます。

2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

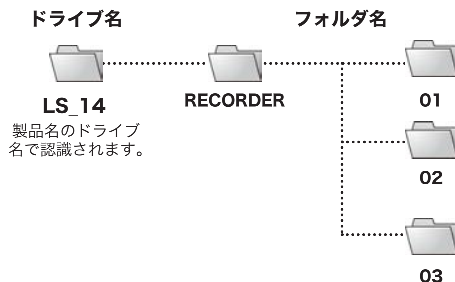
4 本機をパソコンから取り外す
（☞ P.107）

ご注意

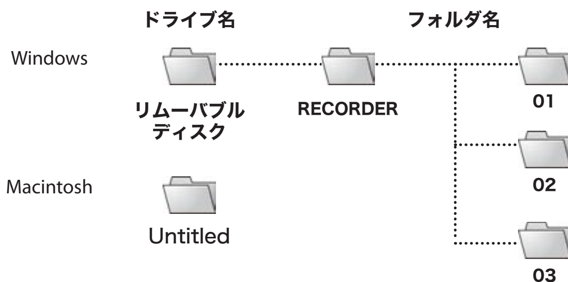
- データ通信中は［**データ送信中**］または［**データ受信中**］と表示され、PEAK 表示ランプが点滅します。PEAK 表示ランプ点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

パソコンを接続した場合のドライブ名とフォルダ名

内蔵メモリ



SD カード



パソコンの外部メモリとして使う

本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存できます。

Windows

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.106)

2 エクスプローラを起動する

- ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。

3 製品名のフォルダをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.107)

Macintosh

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.106)

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

4 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.107)

ご注意

- データ通信中は［**データ送信中**］または［**データ受信中**］と表示され、PEAK 表示ランプが点滅します。PEAK 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません (Battery low)	電池残量がない。	新しい電池に交換してください（☞ P.15）。
ファイルロック中 消去できません (File locked)	ファイルロックがかかっているファイルを消去しようとした。	ファイルロックを解除してください（☞ P.51）。
これ以上記録できません (No more can be set)	ファイル内でインデックスマークを最大数（99）まで使用している。	不要なインデックスマークを消去してください（☞ P.45）。
	ファイル内でテンプマークを最大数（99）まで使用している。	不要なテンプマークを消去してください（☞ P.45）。
ファイル件数がいっぱいです (Folder full)	フォルダ内のファイル件数が最大数（999）になっている。	他のフォルダへファイルを移動させるか、不要なファイルを消去してください（☞ P.48、P.61）。
メモリに異常があります (Memory error)	内蔵メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください（☞ 裏表紙）。
SD カードに 異常があります (Card error)	SD カードが正しく認識されていない。	もう一度 SD カードの抜き差しを行ってください（☞ P.20）。
不正コピーされたファイルです (Illegally copied file)	――	ファイルを消去してください（☞ P.61）。
メモリがいっぱいです (Memory full)	メモリ残量がない。	不要なファイルを消去してください（☞ P.61）。
SD カードがロックされています (SD Card Locked)	SD カードに書き込み禁止処理がされています。	SD カードの書き込み禁止処理を解除してから、もう一度操作してください（☞ P.21）。
ファイルがありません (No file)	フォルダ内にファイルがない。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.25）。
初期化に失敗しました (Format error)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください（☞ P.98）。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
管理ファイルが作成できません PC に接続して不要なファイルを消去してください (Can't create the system file. Connect to PC and erase unnecessary file)	メモリ残量がないため、管理用のファイルが作成できない。	パソコンに接続し、不要なファイルを消去してください。
このファイルは再生できません (Cannot play this file)	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルを選び直してください（☞ P.43）。
ファイルを選んでください (Select a file)	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してください（☞ P.25）。
同一フォルダには移動（コピー）できません (Same folder can't be moved（copied))	同じフォルダに移動（コピー）しようとしている。	別のフォルダを選んでください。
移動（コピー）できないファイルがあります (Some files can't be moved（copied))	移動（コピー）先に同一ファイル名がある場合。	ファイルを選び直してください。
分割できないファイルです (This file can't be divided.)	本機で録音した MP3 形式、WAV 形式以外のファイルを分割しようとしている。	ファイルを選び直してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の ⊕ と ⊖ を確かめてください（☞ P.15）。
	電池残量がない。	新しい電池に交換してください（☞ P.15）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.16）。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換してください（☞ P.15）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.16）。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P.17）。
録音できない	メモリ残量がない。	不要なファイルを消去してください（☞ P.61）。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	他のフォルダへファイルを移動させるか、不要なファイルを消去してください（☞ P.48、P.61）。
外部マイクから録音できない	**LINE IN** ジャックに外部機器が接続されている。	コネクティングコードを本機から取り外してください。
	プラグインパワー対応の外部マイクを接続したが、［**プラグインパワー**］の設定が［**OFF**］になっている。	プラグインパワー対応の外部マイクを接続した場合、［**プラグインパワー**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.74）。
再生音が聞こえない	**EAR** ジャックにイヤホンを接続している。	内蔵スピーカから出力する場合、イヤホンを取り外してください。
	音量が［**00**］になっている。	ボリュームを調節してください（☞ P.40）。
録音のレベルが小さい	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください（☞ P.31）。
	マイクゲインが低い。	マイク感度の設定を［**HI**］または［**MID**］にしてもう一度録音してください（☞ P.69）。
	接続した外部機器の出力レベルの過少が考えられます。	外部機器の出力レベルを調整してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
音声ファイルの音が歪む	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください（☞ P.31）。
	録音レベルや接続した外部機器の出力レベルの過多が考えられます。	録音レベルを調整（☞ P.31）をしてもきれいに録音できない場合、外部機器の出力レベルを調整してください。
音声ファイルがステレオ録音されてない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、L チャンネルのみに音声が録音されます。
	［**録音フォーマット**］の設定がモノラル録音形式である。	［**録音フォーマット**］の設定をステレオ形式から選んでください（☞ P.71）。
音声ファイルがない	録音したフォルダではない。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.25）。
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした。	――――――
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
	接続した外部マイクと本機の設定が合っていない。	プラグインパワー機能に対応していないマイクを接続した場合、［**プラグインパワー**］設定を［**OFF**］にしてください（☞ P.74）。
録音中にイヤホンから音が聞こえない	［**録音モニター**］の設定が［**OFF**］になっている。	［**録音モニター**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.77）。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.51）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングをおこしています。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になるか、録音中は［**録音モニター**］を［**OFF**］にすることをおすすめします（☞ P.77）。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けないなど調整をしてください。
オーバーダビング（多重録音）ができない	再生するファイルのフォーマットが［**PCM 44.1kHz/16bit**］になっていない。	ファイルフォーマットが［**PCM 44.1kHz/16bit**］のファイルを選んでください（☞ P.25、P.60）。
	［**録音フォーマット**］の設定が［**PCM 44.1kHz/16bit**］になっていない。	［**録音フォーマット**］の設定を［**PCM 44.1kHz/16bit**］にしてください（☞ P.71）。
インデックスマーク・テンプマークがつけられない	マーク件数が最大（99 件）になっている。	不要なマークは消去してください（☞ P.45）。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.51）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
パソコン側から本機を認識できない	［**USB 接続**］の設定が［**AC アダプタ接続**］になっている。	［**USB 接続**］の設定を［**PC 接続**］にしてください（☞ P.95）。

アクセサリー（別売）

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、当社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。
http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

■ ステレオマイクロホン：ME51SW
大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

■ 2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W
モノラルマイクロホン ME30 ２本と小型三脚、接続アダプタのセットです。プラグインパワー対応の高感度全指向性マイクで、楽器演奏の録音に適しています。

■ コンパクトガンマイクロホン（単一指向性）：ME31
野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性のガンマイクです。金属切削ボディの採用により、高い本体剛性を実現しました。

■ コンパクトズームマイクロホン：ME32（単一指向性）
三脚と一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。

■ モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W
周囲の雑音の影響を軽減し、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

■ モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15
タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

■ テレホンピックアップマイクロホン：TP8
イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話できます。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

■ USB 接続 AC アダプタ：A514
USB 接続型 DC5V の AC アダプタです。（AC100-240V　50/60Hz）

■ コネクティングコード：KA333
両端がステレオミニプラグ（φ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をライン入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ（φ 3.5）、またはモノラルミニミニプラグ（φ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

■ コネクティングコード：KA334
両端がステレオミニプラグ（φ 3.5）の抵抗なし接続コードです。

■ ユーティリティーソフト：Olympus Sonority Plus
レコーダーで録音した音声をパソコン上で再生したり、ファイル管理することができます。またポッドキャスティングにも対応しています。

■ ウインドジャマー：WJ4
風切音などの低い周波数成分を低減します。

■ 専用リモコンセット：RS30W
受信機を **REMOTE** ジャックに取り付けるとリモコンで本機の録音／停止の操作ができます。受信位置は調整できるので、さまざまな角度から本機を操作できます。

用語の説明

用語	意味
サンプリング周波数（サンプリングレート）[kHz]	サンプリング周波数は、音のきめ細かさを決める数値のことです。この周波数が高いほど前後の音との差が減少し、なめらかな流れの録音ができます。
量子化ビット数（ビット深度）[bit]	量子化ビット数は、音声等のアナログ信号をデジタル化する際に、どれだけ多くのデータで記録を残すかを決める数値のことです。
ビットレート［kbps］	1 秒間に何ビットのデータで再現しているかを示す数値のことです。例えば 128kbps のファイルは 1 秒間に 128kbit を使って再現されているデータということになります。ビットレートの数値を下げるほど、音は劣化しますがデータ容量が少なく済みます。ビットレートの数値が同じでも、MP3 などの音声圧縮方式によって音質が異なります。
リニア PCM 方式	得られたデータに対して圧縮等の処理を行わないため、音質を損なわずにありのままの音を記録することができます。音楽 CD（CD-DA）がこの方式を利用しています。
MP3 方式	最も広く普及している音声圧縮方式の一つです。音楽 CD 並の音質をほとんど劣化させずに、データ容量を元データの約 1/11 まで圧縮することができるとされています。
メモリ（メディア）	記憶媒体のことで、電源が切れてもデータは消えない構造になっています。本書では内蔵メモリ、および SD カードのことを指します。
符号化（エンコード）処理	得られた情報を一定の規則に従ってデータに置き換えて記録することです。また、ある形式のデータを一定の規則に基づいて別の形式に変換（音声圧縮など）することです。
プラグインパワー方式	IC レコーダーなどの録音機からマイクロホンへ電源を供給する方式のことです。

主な仕様

一般事項

■ **記録形式：**
リニア PCM（Pulse Code Modulation）形式
MP3（MPEG-1 Audio Layer3）形式

■ **規定入力レベル：**
［**マイクゲイン**］
［**HI**］ ：－ 70 dBv
［**MID**］：－ 50 dBv
［**LO**］ ：－ 30 dBv
LINE IN ジャック入力：
－ 6 dBv

■ **サンプリング周波数：**
リニア PCM 形式

96.0 kHz 24 bit	96.0 kHz
88.2 kHz 24 bit	88.2 kHz
48.0 kHz 16 bit	48.0 kHz
44.1 kHz 16 bit	44.1 kHz
44.1 kHz (mono)	44.1 kHz

MP3 形式

320 kbps	44.1 kHz
256 kbps	44.1 kHz
128 kbps	44.1 kHz
64 kbps (mono)	44.1 kHz

■ **ヘッドホン最大出力：**
2 mW ＋ 2 mW（22 Ω負荷時）

■ **記録媒体 *：**
内蔵型 NAND FLASH メモリ
4 GB
SD カード
2 GB ～ 32 GB に対応
* メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

■ **スピーカ：**
φ 28 mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵

■ **内蔵マイク最大耐音圧：**
130 dBspl

■ **MIC ジャック：**
φ 3.5 mm インピーダンス 2 k Ω

■ **LINE IN ジャック：**
φ 3.5 mm インピーダンス 10 k Ω

■ **EAR ジャック：**
φ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω以上

■ **スピーカ実用最大出力：**
300 mW（スピーカ 8 Ω）

■ **電源：**
規定電圧：3 V
電　池：
単 3 形乾電池 2 本（LR6）または
ニッケル水素充電池 2 本
外部電源：
USB 接続 AC アダプタ（A514）（DC5V）

■ **外形寸法：**
138.7 mm × 52.5 mm × 23.5 mm
（最大突起部含まず）

■ **質量：**
170 g（電池含む）

■ **使用温度：**
0 ～ 42℃

■ **同梱品：**
本体／ USB 接続ケーブル／キャリングケース／スタンドクリップ／単 3 形アルカリ乾電池× 2 ／取扱説明書（保証書付）

主な仕様

周波数特性

■ **MIC ジャック／ LINE IN ジャック**
録音時：
リニア PCM 形式

96.0 kHz 24 bit	20 Hz ～ 44 kHz
88.2 kHz 24 bit	20 Hz ～ 42 kHz
48.0 kHz 16 bit	20 Hz ～ 23 kHz
44.1 kHz 16 bit	20 Hz ～ 21 kHz
44.1 kHz (mono)	20 Hz ～ 21 kHz

MP3 形式

320 kbps	20 Hz ～ 20 kHz
256 kbps	20 Hz ～ 20 kHz
128 kbps	20 Hz ～ 17 kHz
64 kbps (mono)	20 Hz ～ 13 kHz

■ **内蔵マイク録音時：**
20 Hz ～ 20 kHz（[**センターマイク ON**]）
60 Hz ～ 20 kHz（[**センターマイク OFF**]）
（但し、MP3 形式で録音する場合、周波数特性の上限値は各録音フォーマットによる。）

■ **再生時：**
20 Hz ～ 20 kHz
（但し、周波数特性の上限値・下限値は各録音フォーマットによる）

1ファイルあたりの最長録音時間

- 1 ファイルあたりの最大容量は、MP3 形式は約 4GB、リニア PCM 形式 (WAV) は約 2GB に制限されています。
- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は下記の値に制限されています。

■ リニア PCM 形式：

96.0 kHz 24 bit	約 1 時間
88.2 kHz 24 bit	約 1 時間
48.0 kHz 16 bit	約 3 時間
44.1 kHz 16 bit	約 3 時間 20 分
44.1 kHz (mono)	約 6 時間 40 分

■ MP3 形式：

320 kbps	約 29 時間 40 分
256 kbps	約 37 時間 10 分
128 kbps	約 74 時間 30 分
64 kbps (mono)	約 149 時間

主な仕様

録音時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ リニア PCM 形式：

録音フォーマット	内蔵メモリ（4 GB）	SD カード		
		32 GB	16 GB	8 GB
96.0 kHz 24 bit	1 時間 35 分	14 時間 30 分	7 時間 15 分	3 時間 35 分
88.2 kHz 24 bit	1 時間 45 分	15 時間 45 分	7 時間 50 分	3 時間 55 分
48.0 kHz 16 bit	4 時間 50 分	43 時間 35 分	21 時間 45 分	10 時間 50 分
44.1 kHz 16 bit	5 時間 15 分	47 時間 25 分	23 時間 40 分	11 時間 45 分
44.1 kHz (mono)	10 時間 35 分	94 時間 55 分	47 時間 20 分	23 時間 35 分

■ MP3 形式：

録音フォーマット	内蔵メモリ（4 GB）	SD カード		
		32 GB	16 GB	8 GB
320 kbps	23 時間 30 分	209 時間	104 時間	52 時間
256 kbps	29 時間	261 時間	130 時間	65 時間
128 kbps	58 時間 30 分	523 時間	261 時間	130 時間
64 kbps (mono)	117 時間	1046 時間	522 時間	260 時間

ご注意

- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください）。
- ご使用の SD カードにより空き容量に差が出ることがあるため、録音可能時間にも差が発生します。

主な仕様

電池持続時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ 内蔵マイク録音時 *（内蔵メモリ使用時）：

録音フォーマット		アルカリ乾電池
リニア PCM 形式	**44.1 kHz/16 bit**	約 46 時間
MP3 形式	**320 kbps**	約 42 時間
	64 kbps (mono)	約 43 時間

*［**マイク選択**］の設定を［**センターマイク ON**］にしたとき。

■ 音声ファイル再生時：

スピーカ再生時

録音フォーマット		アルカリ乾電池
リニア PCM 形式	**44.1 kHz/16 bit**	約 62 時間
MP3 形式	**320 kbps**	約 53 時間
	64 kbps (mono)	約 61 時間

イヤホン再生時

録音フォーマット		アルカリ乾電池
リニア PCM 形式	**44.1 kHz/16 bit**	約 86 時間
MP3 形式	**320 kbps**	約 75 時間
	64 kbps (mono)	約 86 時間

ご注意

- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池、使用条件により大きく変わります。
- SD カードご使用時は電池持続時間は短なる場合があります。

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

索引

記号

アルファベット

E

F

L

M

O

P

Q

R

S

U

W

かな

い

お

か

け

こ

索引

索引

も

り

ろ

MEMO

MEMO

＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書に従った正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後６ 年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は､お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   - イ . ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   - ロ . お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   - ハ . 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   - ニ . 本書のご提示がない場合。
   - ホ . 本書にお買い上げ年月日、シリアル No.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   - ヘ . 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス イメージング株式会社
〒 192-8507 東京都八王子市石川町 2951

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から 1 年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部　品　代	修　理　工　料
本　体	1 年	無　料	
品　名	リニア PCM レコーダー	型　名	**LS-14**
シ リ ア ル No.		お 買 い 上 げ 日	年　月　日
販　売　店　名	無 効		



オリンパスイメージング株式会社

〒192-8507 東京都八王子市石川町2951

● **ホームページによる情報提供について**

製品仕様・パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問い合わせ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）**



0120-084215

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX　042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています。

● **オンライン修理受付のご案内**

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）もオンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● **ピックアップサービス（引取修理）のご案内**

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様のご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。
お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」

0120-971995

営業時間：平日 8：00～21：00
土・日・祭日 9：00～17：00（指定休業日を除く）

※ 記載内容は変更されることがあります。

J1-BS1288-01　AP1209